ONKYO®

MA-700U

USBマルチメディアAVレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

箱をあけたら、まず

接続をする

パソコンの接続と設定

再生する

いろいろな機能

その他

主な特長

■ パソコンと簡単USB接続、スピーカーと組み合わせてDVD映画や音楽を楽しむことができます

■ バーチャルサラウンド機能、「Theater-Dimensionalモード」搭載

■ 独自開発「VLSC（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリー））」搭載をはじめ、オーディオメーカーならではのハイクオリティアンプ内蔵

■ 豊富な入出力端子装備で多彩なAV機器と接続し、USBデジタル録音が楽しめます

■ FM/AMチューナー搭載、パソコンへのエアチェックも簡単に楽しめます

■ 統合型デジタルAVソフト「CarryOn Master ver.3.70」をバンドル

■ カスタマイズリモコンで快適操作

■ FM/AM放送のパソコンへの録音や再生（CarryOn Master起動時）など最大4モードのプログラムタイマー機能

■ 高域、低域を自分の好みに調節できるトーンコントロール機能

■ 金メッキ入出力端子

下記の注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

「CarryOn Master」は、「CarryOn Music」と「WinDVD4」の二つのソフトウエアの総称です。
本書の説明の中で、「CarryOn Master」とある場合は、「CarryOn Music」と「WinDVD4」のどちらにも関係する説明です。「CarryOn Music」とある場合は、「CarryOn Music」だけに関する説明です。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルをはずし、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対にカバーは外さない、改造しない

分解禁止

● 本機のカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部、後部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。

- 本機を押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

- 本機の通風孔に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにUSBケーブルをはずし、本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルをはずし、電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機を机やラックの端に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 電源を入れたときは音量（ボリューム）に注意してください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。
  磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

⚠注意

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、USBケーブルをはずし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードやスピーカーコードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■点検・工事について

電源プラグをコンセント
から抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。

  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

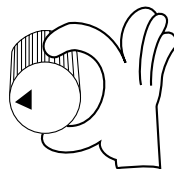
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

メモリー保持について

MA-700Uには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。MA-700Uの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約2週間です。

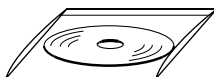
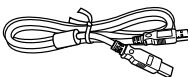
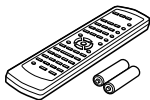
♪ 音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品を確認する

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。

- **リモコン（RC-539P）（1）**
- **乾電池（単3形）（2）**

- **USBケーブル（1）**
  パソコンと接続するケーブルです。

- **CD-ROM（CarryOn Master ver.3.70 for Windows）（1）**

- **光デジタルケーブル（1）**
  オーディオデジタル音声を伝送するためのケーブルです。

- **ミニジャックアダプター（1）**
  ポータブルCDやパソコン等接続する機器の光デジタル端子がミニジャックの場合に使用します。

- **AM室内アンテナ（1）**
  AM放送を受信するアンテナです。

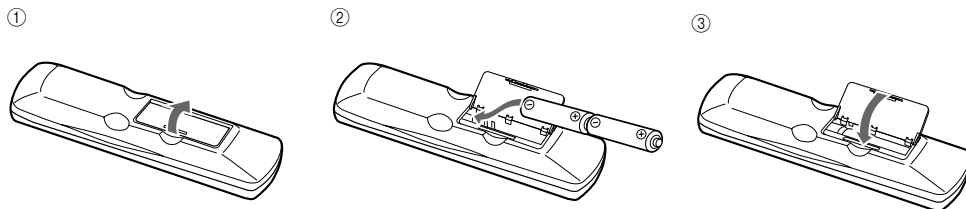
- **FM室内アンテナ（1）**
  FM放送を受信するアンテナです。

- **取扱説明書（本書1）**
- **CarryOn Master取扱説明書（1）**
- **オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）**
- **保証書（1）**

ご注意

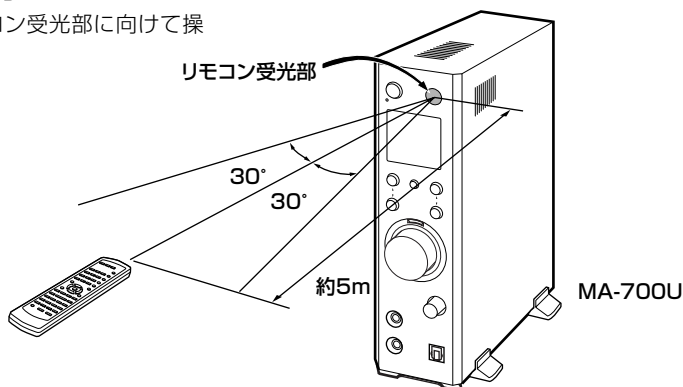
- MA-700Uは、MS-700/MS-500との組み合わせで最良の状態になるように設計されております。本体と他のスピーカーとの組み合わせでご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますのでご了承ください。
- CD-ROMを開封する前に、必ず「CarryOn Master取扱説明書」の「ソフトウェア使用許諾契約について」のページをお読みください。
- カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

リモコンを準備する

■ 乾電池の入れ方と交換のしかた

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

- 電池の極性（⊕、⊖）は、表示どおり正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

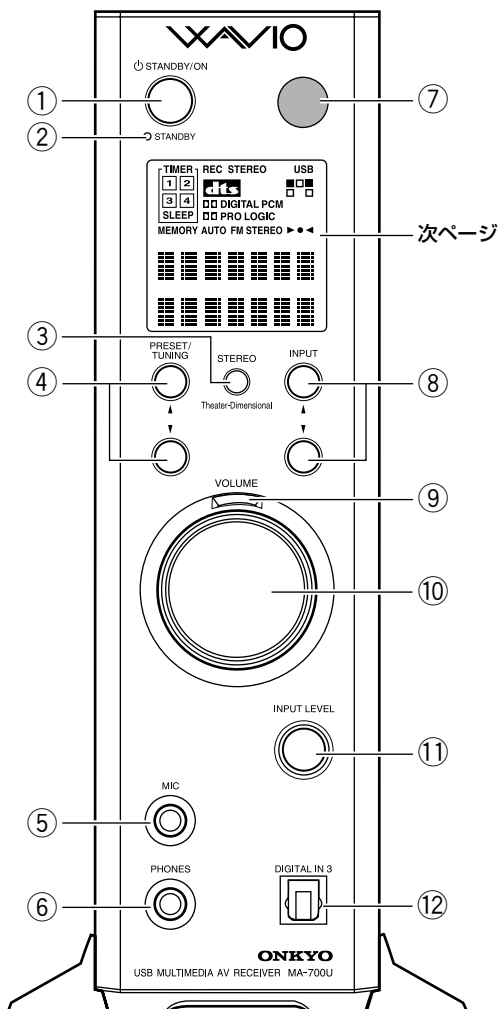
■ リモコンの使い方

MA-700Uのリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンを本機（MA-700U）のリモコン受光部に向けて操作してください。

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称と働き

■ MA-700U前面パネル

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

① **STANDBY/ONボタン[24]**
電源のスタンバイ／オンを切り換えます。

② **STANDBYインジケーター[24]**
スタンバイ状態のとき、およびリモコンからの信号を受信したときに点灯します。

③ **STEREO/Theater-Dimensional切換ボタン[42]**
押すたびにステレオもしくはシアターディメンショナルに切り換えます。

④ **PRESET/TUNING ▲/▼ボタン[44, 47]**
FM/AM放送受信時に、プリセットチャンネルを切り換えたり、周波数の選択をしたりします。

⑤ **MIC（マイク入力）端子[21]**
ミニプラグのモノラルマイクを接続します。スピーカーの音量を下げてから接続してください。

⑥ **PHONES端子[38]**
ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。スピーカーの音量を下げてから接続してください。

⑦ **リモコン受光部[12]**
リモコンからの操作信号を受けます。

⑧ **INPUT ▲/▼ボタン[37]**
入力ソースを選びます。

⑨ **ミュートインジケーター[38]**
ミューティング（消音）時は点滅します。

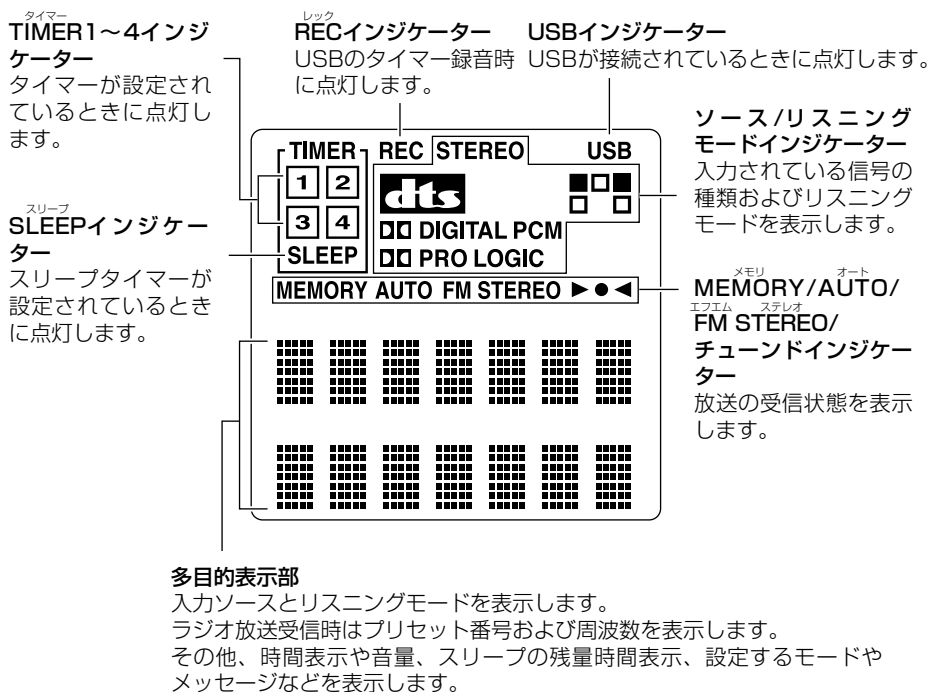
⑩ **VOLUME（音量調整）ツマミ[37]**
音量を調整します。

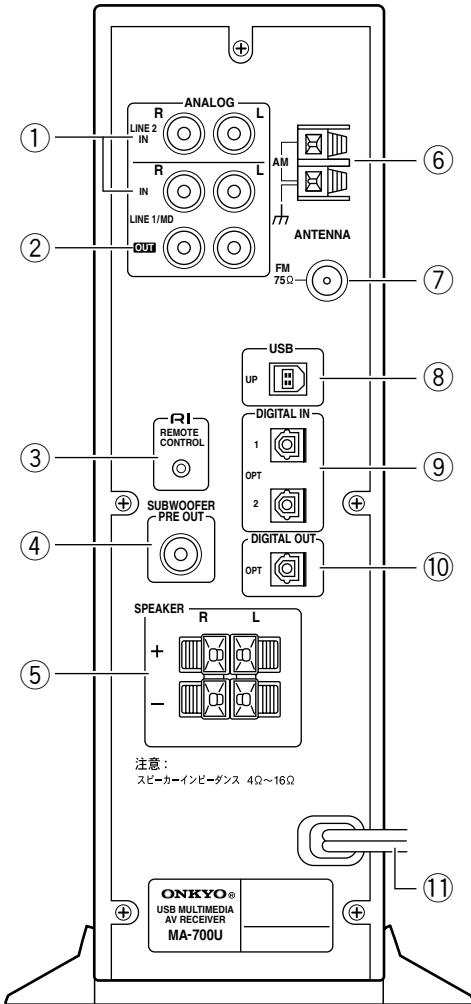
⑪ **INPUT LEVEL（入力レベル調整）ツマミ[50]**
録音するときに入力レベルを設定します。

⑫ **DIGITAL IN 3端子[20]**
CDプレーヤーやMDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続します。

■ 表示部

多目的表示部

入力ソースとリスニングモードを表示します。
ラジオ放送受信時はプリセット番号および周波数を表示します。
その他、時間表示や音量、スリープの残量時間表示、設定するモードやメッセージなどを表示します。

■ MA-700U後面パネル

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

① **LINE 1/MD IN、LINE 2 IN（ライン入力）端子[21, 50, 58]**
オーディオ用のピンコードでMDレコーダー（MDプレーヤー）やビデオデッキなどのライン出力端子（アナログ）と接続します。

② **LINE 1/MD OUT（ライン出力）端子[21, 58]**
MDレコーダーなどの入力端子（アナログ）に接続します。

③ **RI（リモコン）端子[23]**
RI端子付きのオンキヨー製MDレコーダーと接続し、連動させるための端子です。RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

④ **SUBWOOFER PRE OUT（サブウーファー出力）端子[21, 22]**
アンプ内蔵のサブウーファー（アクティブサブウーファー）の入力端子に接続します。

⑤ **SPEAKER端子[22]**
スピーカー（左／右）を接続します。

⑥ **AMアンテナ端子[18, 19]**
付属のAM室内アンテナ、またはAM屋外アンテナを接続します。

⑦ **FMアンテナ端子[18, 19]**
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続します。

⑧ **USB UP（アップポート）端子[26, 50, 54, 56]**
USBケーブルでパソコンのUSB端子と接続します。

⑨ **DIGITAL IN 1 OPT、2 OPT（光デジタル入力）端子[20, 54]**
DVDプレーヤーやCS/BSチューナー、CDプレーヤーなどの光デジタル出力端子と接続します。

⑩ **DIGITAL OUT OPT（光デジタル出力）端子[20, 56]**
光デジタルケーブルでCDレコーダーやMDレコーダーのデジタル入力端子と接続します。

⑪ **電源コード[24]**
壁コンセントに差し込みます。

■ リモコンRC-539P

<本機を操作する>

ここでは、本機（MA-700U）を操作するときに使用するボタンについて説明します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

INPUTボタン
聞くソースを選びます。

PRESET/SONGボタン
TUNING/CATEGORYボタン
放送受信時、
◄/►ボタンでプリセット局を選びます。
▲/▼ボタンで周波数を変更します。
また、メニュー項目や設定項目を選択したり、設定内容を変更したりします。

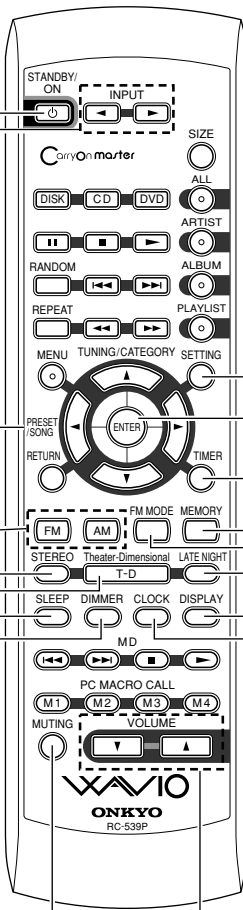
FM/AMボタン
入力ソースをFM放送もしくはAM放送にします。

STEREOボタン
リスニングモードをステレオにします。

Theater-Dimensionalボタン
リスニングモードをシアターディメンショナルにします。また、シアターディメンショナルのリスニングアングルを切り換えます。

SLEEPボタン
スリープタイマーを設定します。

DIMMERボタン
表示部の明るさを切り換えます。

MUTINGボタン
音を一時的に小さくします。

SETTINGボタン
いろいろな設定をするときに押します。バス、トレブルなどの音質設定や入力・出力バランス、音量バランス、マイク入力オン/オフなどが設定できます。

ENTERボタン
各種設定を決定するときに押します。

TIMERボタン
時刻合わせや、タイマー設定を行います。

MEMORYボタン
放送局をプリセットメモリーするときに使用します。

FM MODEボタン
FM受信時に、FMモードのオートステレオ/モノの切り換えを行います。

LATE NIGHTボタン
小音量で楽しみたいときに、ダイナミックレンジを切り換えます。
ドルビーデジタルソフトを再生するときに使用できます。

DISPLAYボタン
表示部の情報を切り換えます。

CLOCKボタン
現在時刻を表示します。

VOLUMEボタン
音量を調節します。

<CarryOn Master (CD-ROMのソフトウェア）を操作する>

まずMA-700Uに付属のCD-ROMからパソコンにソフトウェアをインストールしてください（27～30ページ参照）。次にMA-700Uとパソコンを接続してください（26ページ）。リモコン（RC-539P）を使って、いろいろな操作をすることができます。

DISK（ディスク）/CD/DVDボタン
表示パネルを切り換えます。

❚❚：再生を一時停止します。❚❚ボタンもしくは►ボタンを押すと、ふたたび再生が始まります。
■：再生を停止します。
►：再生を始めます。

RANDOMボタン
曲を順不同に演奏します。

REPEAT（リピート）ボタン
曲を繰り返し演奏します。

MENU（メニュー）ボタン
DVDのディスクに記録されているメニューを表示します。

RETURN（リターン）ボタン
1つ前のメニュー画面に戻ります。

ENTER（エンター）ボタン
選択内容を決定します。

SIZE（サイズ）（サイズ切り換え）ボタン
ボタンを押すごとに、操作パネルのサイズが変わります。

ALL（オール）ボタン
ミュージックライブラリの曲をすべて表示します。

ARTIST（アーティスト）ボタン
ミュージックライブラリの曲をアーティスト別に表示します。

ALBUM（アルバム）ボタン
ミュージックライブラリの曲をアルバム別に表示します。

I◄◄：演奏中の曲、または前の曲の頭出しをします。
►►I：次の曲の頭出しをします。

◄◄：再生中の曲の早戻しをします。
►►：再生中の曲の早送りをします。

▲/▼/◄/►
画面に表示されたメニューを選択します。また、カテゴリーやトラックを選択します。

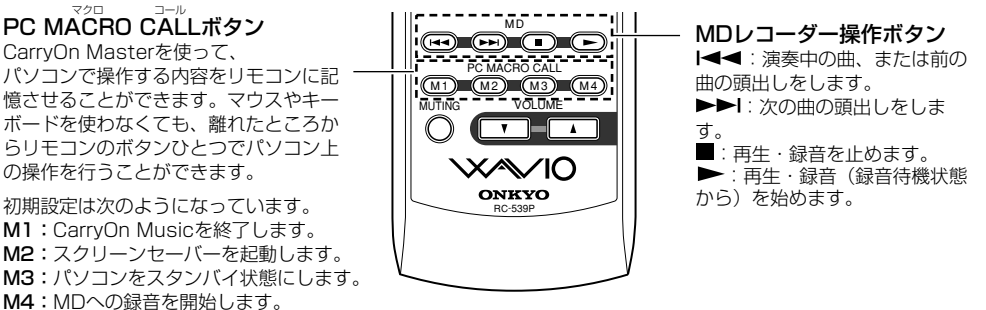
CarryOn Masterが起動していないときにリモコンのDISK、CDもしくは►ボタンを押すと、CarryOn Musicが自動的に立ち上がります。（DVDボタンを押すとWinDVD4が自動的に立ち上がります。）

<RI接続したオンキヨー製MDレコーダーを操作する/パソコンを操作する>

リモコン（RC-539P）を使って、RI接続したオンキヨー製のMDレコーダーや、USBケーブルで接続しているパソコンを操作することができます。リモコンをMA-700Uのリモコン受光部に向けて操作してください。
接続については21、23ページをご覧ください。

PC MACRO（マクロ） CALL（コール）ボタン
CarryOn Masterを使って、パソコンで操作する内容をリモコンに記憶させることができます。マウスやキーボードを使わなくても、離れたところからリモコンのボタンひとつでパソコン上の操作を行うことができます。

初期設定は次のようになっています。
M1：CarryOn Musicを終了します。
M2：スクリーンセーバーを起動します。
M3：パソコンをスタンバイ状態にします。
M4：MDへの録音を開始します。

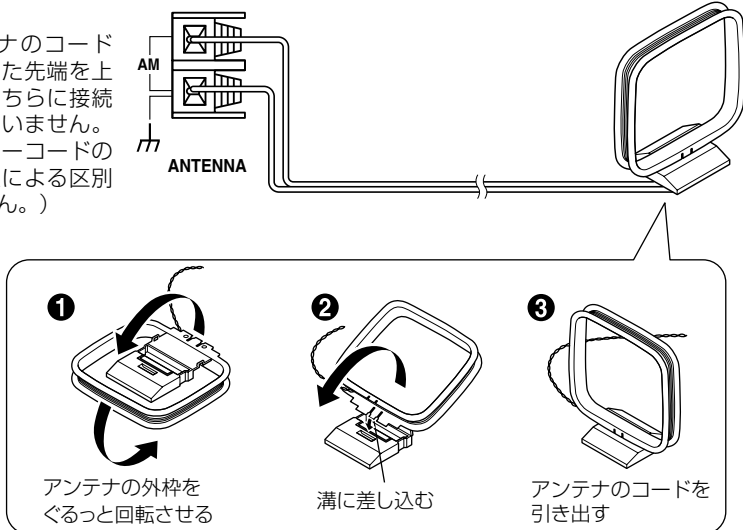
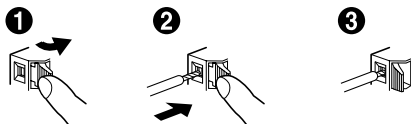
MDレコーダー操作ボタン
I◄◄：演奏中の曲、または前の曲の頭出しをします。
►►I：次の曲の頭出しをします。
■：再生・録音を止めます。
►：再生・録音（録音待機状態から）を始めます。

アンテナを接続する

■ 室内アンテナの接続

付属のAM室内アンテナをつなぐ

AMアンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように極性による区別はありません。）

AMアンテナコードのつなぎ方

ご注意

- 雑音の原因になりますので、AM室内アンテナはMA-700U、パソコン、テレビ、接続コードからできるだけ離して設置してください。

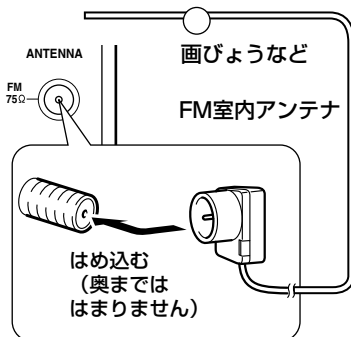
AM室内アンテナについて

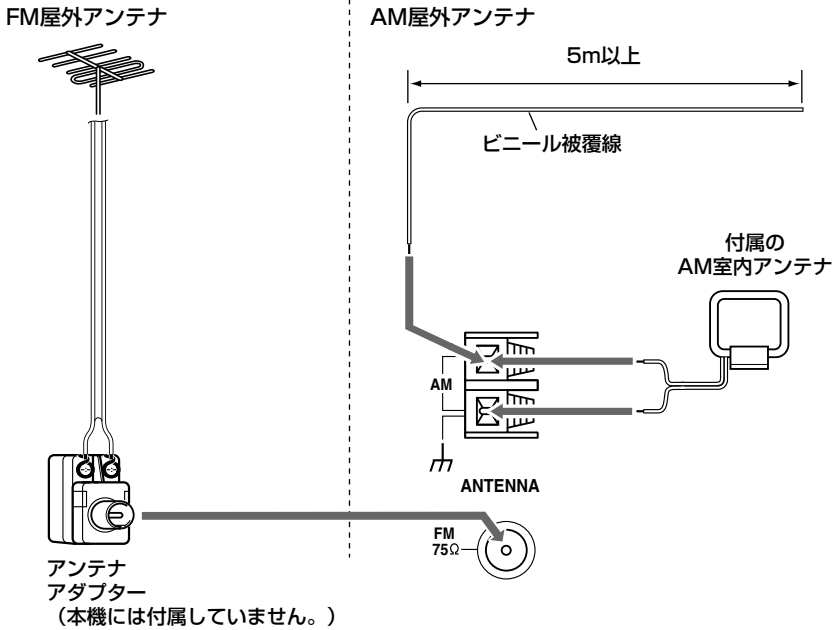
良好な受信状態になるように設置場所を変えたり、左右に回して調整してください。

付属のFM室内アンテナをつなぐ

電波の強い地域では、付属のFM室内アンテナで放送を聞くことができます。放送を聞きながらひずみや雑音の最も少ない位置に画びょうなどを使ってアンテナの端を固定してください。
室内アンテナで安定した受信ができないときは、屋外アンテナを設置して接続してください。

ご注意

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

■ 屋外アンテナの接続

FM、AM屋外アンテナをつなぐ

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できるところに設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などでAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。付属のAM室内アンテナは接続しておいてください。

ご注意

⚠送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

オーディオ機器を接続する

■ デジタル機器との接続

後面パネル

前面パネル

DVDプレーヤー、MDプレーヤー、
CS/BSチューナー、CDプレーヤー、
ゲーム機など

デジタル出力（光）

CDレコーダー、
MDレコーダーなど

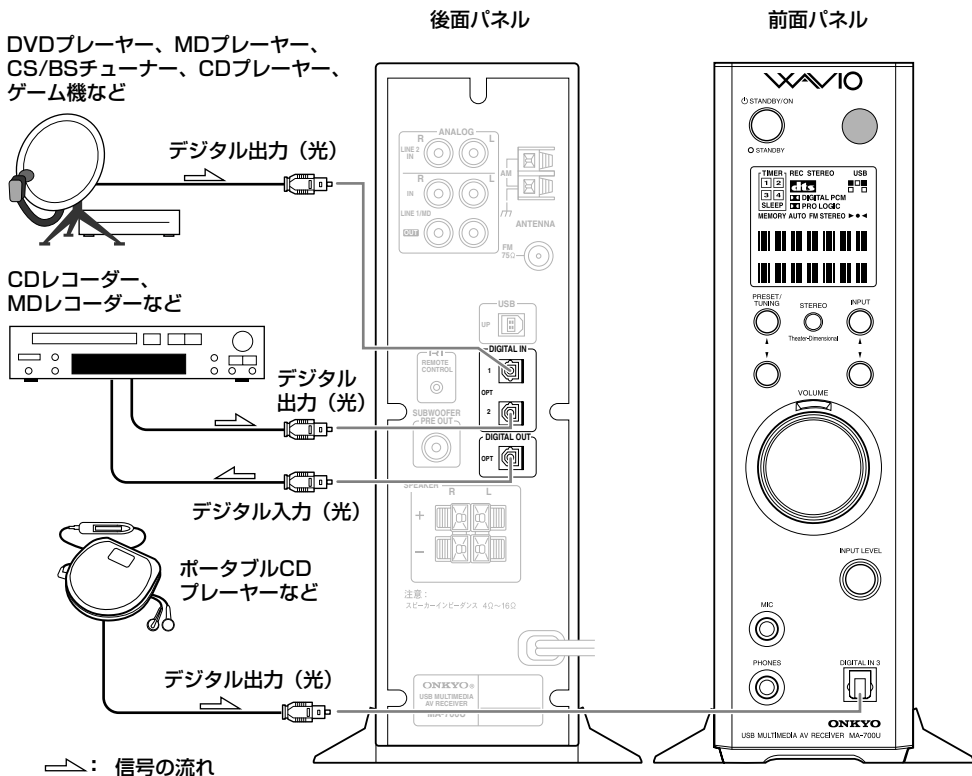
デジタル
出力（光）

デジタル入力（光）

ポータブルCD
プレーヤーなど

デジタル出力（光）

DIGITAL IN 1
DIGITAL IN 2
DIGITAL OUT
DIGITAL IN 3

⇀：　信号の流れ

ご注意

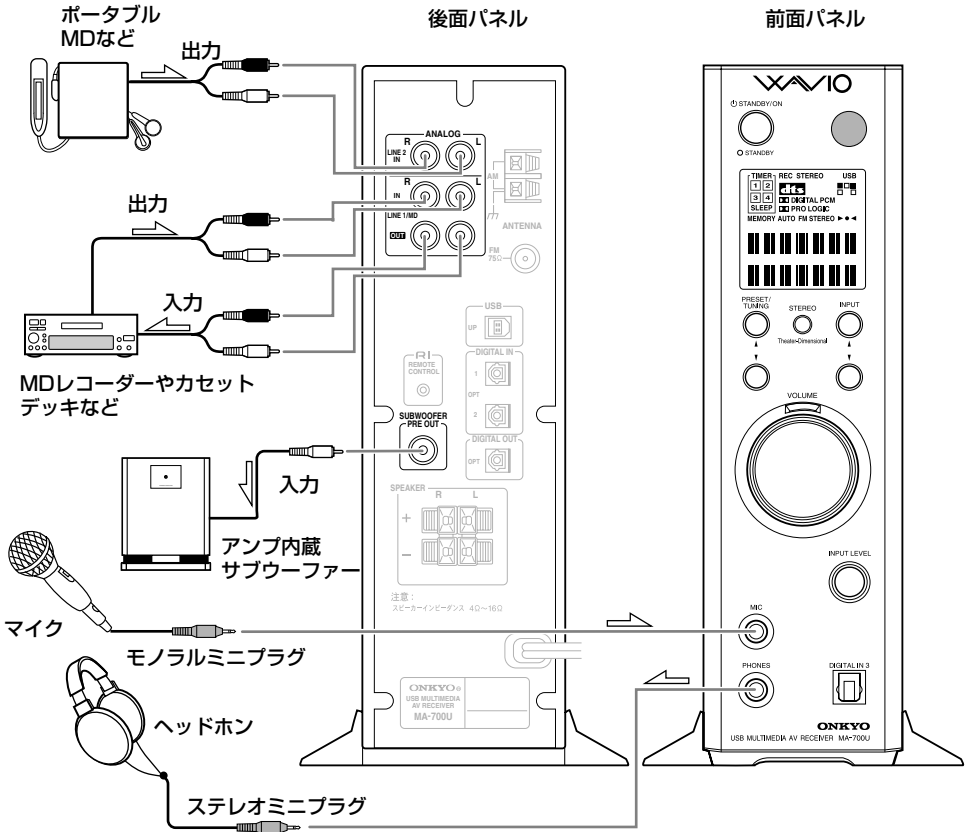
- DIGITAL IN 1、2 OPT端子およびDIGITAL OUT　OPT端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを必ず元どおりに取り付けてください。

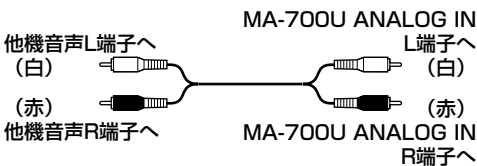
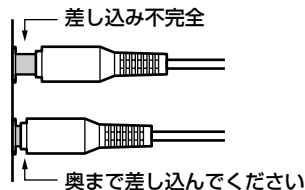
- 前面パネルのDIGITAL　IN　3端子にはキャップは付いていません。シャッタータイプですので、フタをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。また、端子の向きにご注意ください。

DIGITAL IN 3

- DIGITAL　IN　1および2 OPT端子へ接続するのと同様に、前面のDIGITAL　IN　3端子にもDVDプレーヤーやゲーム機、CDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続することができます。

■ アナログ機器との接続

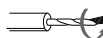
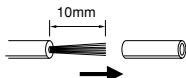
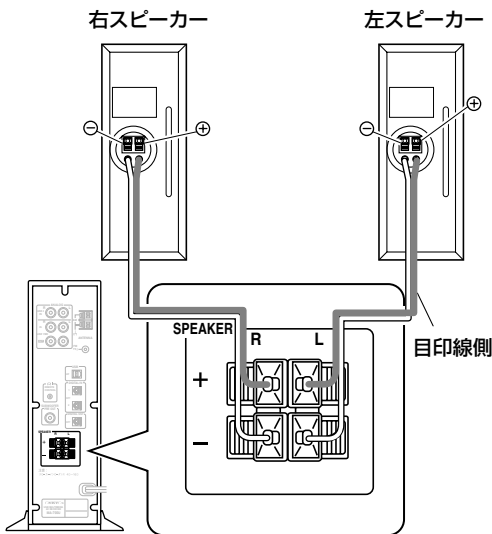
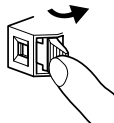
ポータブルMDなど
出力
後面パネル
前面パネル
出力
入力
MDレコーダーやカセットデッキなど
入力
アンプ内蔵サブウーファー
マイク
モノラルミニプラグ
ヘッドホン
ステレオミニプラグ

⇒： 信号の流れ

- 音声用ピンコードは、次のように接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

スピーカーの接続と配置

■ 接続する前に

スピーカーインピーダンスが4Ω～16Ωのものをご使用ください。4Ω未満のものは使用できません。

① スピーカーコードの先のビニール（絶縁体）部分を、しん線を残して10mmはがします。

② しん線をよじります。

■ 左右スピーカーの接続

① レバーを押します。

② しん線を穴の中に入れます。

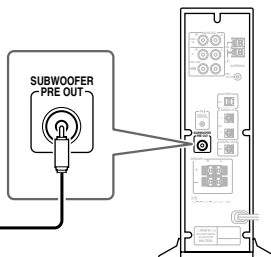
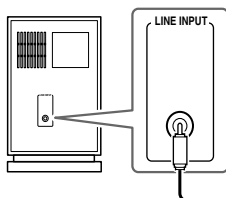
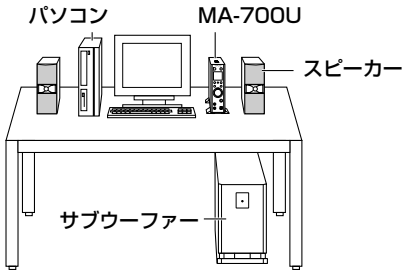
③ レバーをはなします。

危険

回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはL/Rを絶対にショートさせないでください。

- プラス（＋）とマイナス（－）を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。音声が不自然になります。
- 付属のスピーカーコードの目印線の入っている方をプラス（＋）側に接続してください。

■ サブウーファーの接続

パワーアンプ内蔵のサブウーファーをSUBWOOFER PRE OUT端子に接続します。

■ スピーカーの配置のしかた

左の配置図は一例です。

- 左右スピーカーは視聴位置から同じ距離になるよう配置してください。
- サブウーファーを設置する場合は、部屋の隅や机の下などいろいろ場所を変えて聞きくらべ、最も効果のある場所に置いてください。

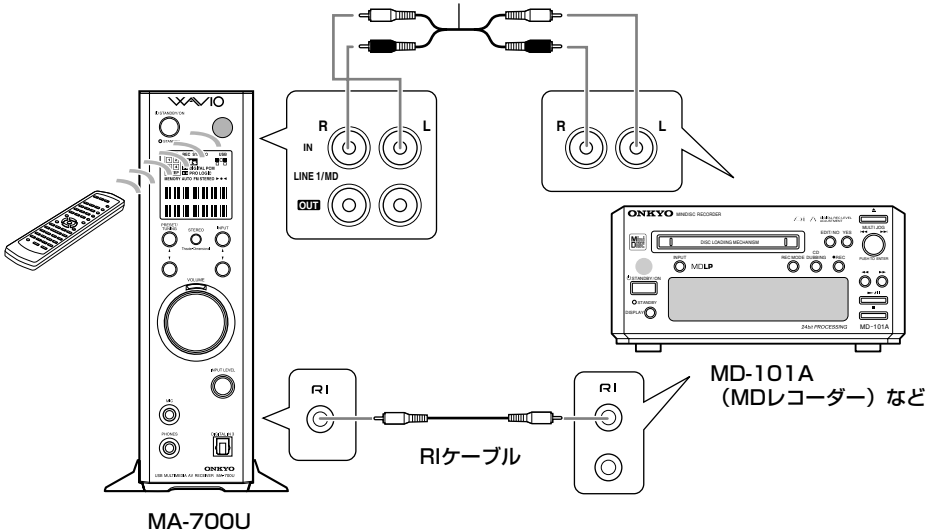
RIケーブルを接続する

■ RIケーブルの接続

RI 端子付きオンキヨー製MDレコーダーと組み合わせて使用する場合、MA-700UのリモコンでMDレコーダーを操作することができます。

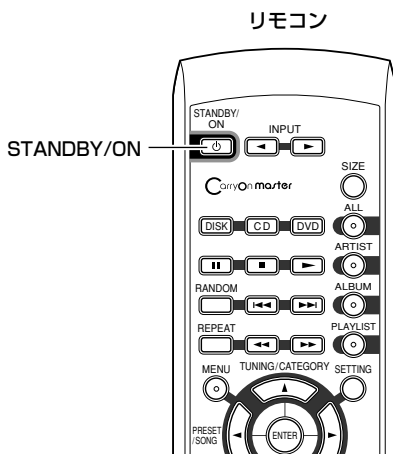
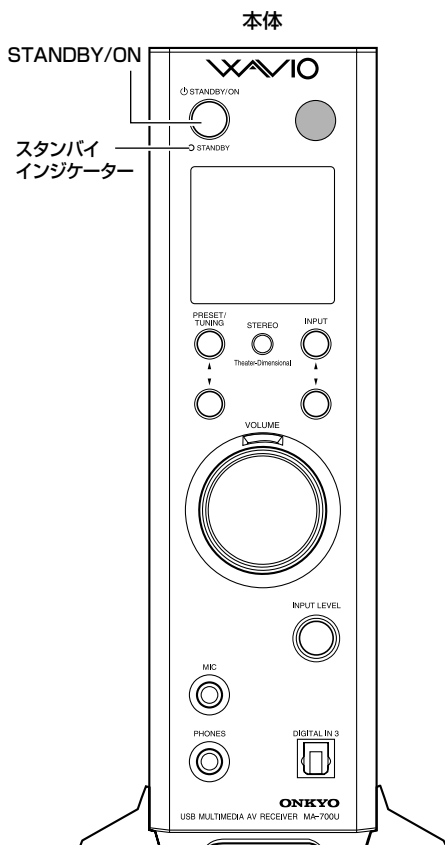
（MA-700UにはRIケーブルは付属していません。MDレコーダーに付属しているRIケーブルをご使用ください。）

- MA-700Uのリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
- 使用できる機能については、17ページをご参照ください。

（例）

- RI端子はRI端子付き製品とのみ組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- **RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。**

電源を入れる

接続する前に

電源コード以外の、すべての接続が完了していることを確認してください。

1 本機の電源コードを壁のコンセントにつなぐ

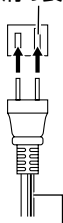
2 前面パネルまたはリモコンのSTANDBY/ON（スタンバイ／電源オン）ボタンを押す

STANDBY（スタンバイ）インジケーターが消灯し、表示部が点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。

電源コードの白線マークの方を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

誤動作するときは

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などの影響を受けて誤動作するときがあります。このようなときは、電源コードを壁のコンセントから一度抜き、5秒以上たってからつなぎなおしてください。

パソコンの接続を始める前に

■ 必要なシステム構成

- USB（1.1以上）ダウンポートを標準搭載したPC（Intel製USBホストコントローラー推奨）
- Windows 2000*/Me/XP*が正常に動作するパソコンで下記の要件を満たすもの
  *システム管理者（Administrator）でのみ使用可能です。
  Intel® Celeron® 800 MHz以上または相当するCPU（Pentium® III 800 MHz以上推奨）
- 40 MB 以上のハードディスク空き容量
- 128 MB 以上のRAM
- CD-ROMドライブ（または相当品）
  付属のソフトウェアをインストールするために必要です。

Windowsについて

Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

必要な動作環境を満たすパソコンであっても、パソコンシリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機の動作が正常に行われない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は、弊社ホームページ（http://www.wavio.net/）にてご確認ください。

■ 本機をお使いいただくにあたって

本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

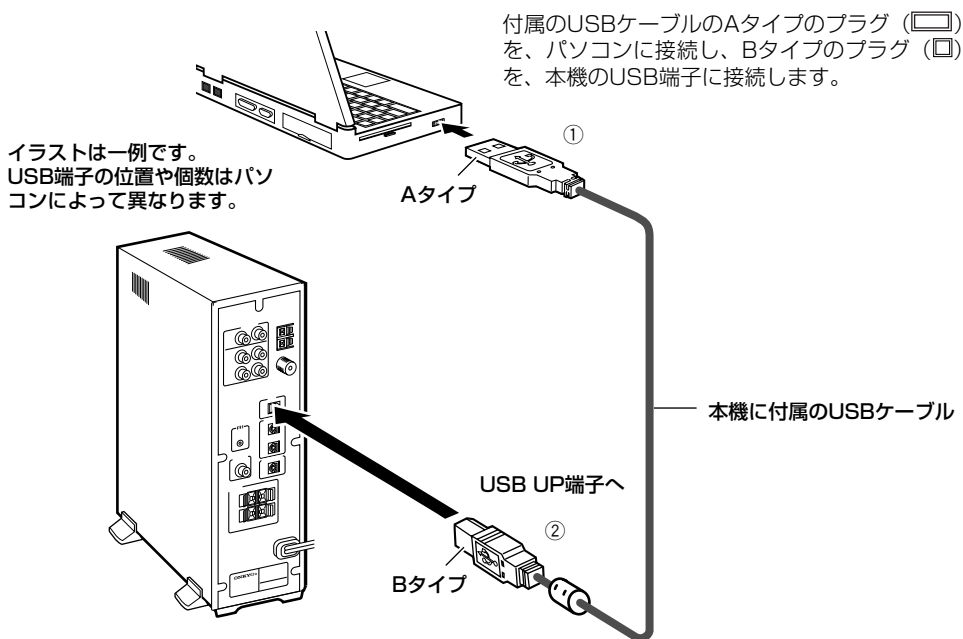
- 本書は、特に断りのない限り、Windows XPの操作をもとに書かれています。
- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。

パソコンを接続する

■ パソコンとUSB接続する

1 本機の電源を入れる

スタンバイ状態のときは、STANDBY/ONボタンを押してください。

2 USBケーブルをパソコンに接続し、もう一方をMA-700Uに接続する

ご注意

USBケーブルを抜き差しするときは、MA-700Uの音量を下げてから行ってください。

ヒント

パソコンに直接接続するようにしてください。
また、パソコン側にUSB端子が2つ以上あるときはどの端子に接続しても構いませんが、USBケーブルをつなぎ直したときに、再度デバイスドライバを要求される場合があります。

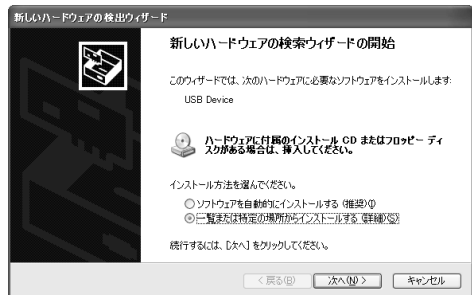
ドライバのインストールをする

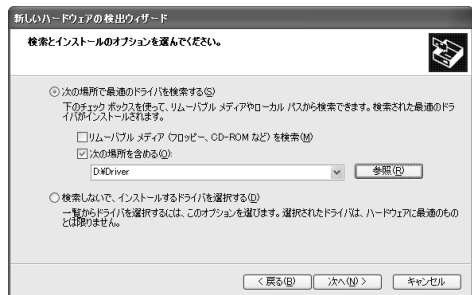
■ ドライバのインストール <Windows XPの場合>

本機とパソコンが正しく接続されているかご確認ください。また、前もって本機の電源を入れておいてください。

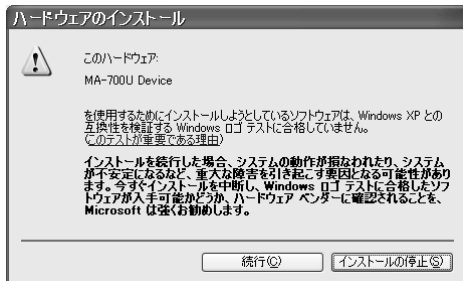
1 **パソコンの電源を入れ、Windowsが起動していることを確認します。**

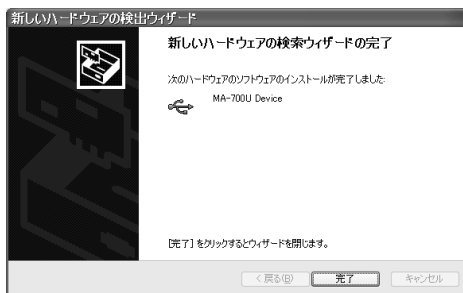
USBインジケーターが点灯します。パソコンがMA-700Uを認識し、自動的に必要なドライバのインストールが始まります。このとき、本機ディスプレイ部のUSBインジケーターが点灯しない場合は、MA-700Uがパソコンを認識していません。26ページを参照し、再度本機とパソコンが正しく接続されているか確認してください。

2 **「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **本機に付属のCD-ROMをパソコンにセットします。**

4 **「次の場所で最適なドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」をチェックをして［参照］ボタンをクリックします。**

5 **本機に付属のCD-ROMのDriverフォルダを指定し、［次へ］ボタンをクリックします。**

6 **インストールが始まります。**

※「Windowsロゴテストに合格していません」という警告メッセージが表示された場合は、［続行］をクリックしてインストールを進めてください。動作上、問題のないことを弊社では確認済みです。

7 正常にドライバがインストールされると、「次のハードウェアのインストールが完了しました: MA-700U Device」とメッセージが表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

ヒント

- お客様のパソコンの環境によっては、USBケーブルをパソコンの他の端子に差し替えると、ドライバの再インストールを要求されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックして、ドライバをインストール時のUSB端子につなぎなおすか、手順に従ってもう一度ドライバをインストールしてください。
- 万一インストールが進まない場合は、USBケーブルを抜き、15秒ほど待って再度USBケーブルを接続してください。それでもインストールが始まらない場合は、次の操作をしてください。

  ① 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。

  ② 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

  ③ コントロールパネルの「システム」をクリックします。

  ④ 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。

  ⑤ 「ハードウェアの追加ウィザード」ボタンをクリックします。

  以上の手順でインストールが始まりますので、画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

■ ドライバのインストール <Windows 2000の場合>

本機とパソコンが正しく接続されているかご確認ください。また、前もって本機の電源を入れておいてください。

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsが起動していることを確認します。**

USBインジケーターが点灯します。パソコンがMA-700Uを認識し、自動的に必要なドライバのインストールが始まります。このとき、本機ディスプレイ部のUSBインジケーターが点灯しない場合は、MA-700Uがパソコンを認識していません。26ページを参照し、再度本機とパソコンが正しく接続されているか確認してください。

2 **「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」が表示されたら、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

4 **「ドライバファイルの特定」画面が表示されたら、「場所を指定」のみにチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。**

5 **本機に付属のCD-ROMをパソコンにセットします。**

6 **［参照］ボタンをクリックし、本機に付属のCD-ROMのDriverフォルダを指定し、［次へ］ボタンをクリックします。**

7 **「このデバイスのドライバが見つかりました。」とメッセージが表示されたら、［次へ］ボタンをクリックし、インストールを開始します。**

8 **正常にドライバがインストールされると、「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。」とメッセージが表示されます。［完了］ボタンをクリックします。**

■ ドライバのインストール ＜Windows Meの場合＞

本機とパソコンが正しく接続されているかご確認ください。また、前もって本機の電源を入れておいてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsが起動していることを確認します。

2 MA-700UのUSBケーブルを接続します。

USBインジケーターが点灯します。パソコンがMA-700Uを認識し、自動的に必要なドライバのインストールが始まります。この時、本機ディスプレイ部のUSBインジケーターが点灯しない場合は、MA-700Uがパソコンを認識していません。26ページを参照し、再度本機とパソコンが正しく接続されているか確認してください。

3 「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示されたら、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ドライバの検索画面が表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」のみに、チェックを入れてください。

5 本機に付属のCD-ROMをPCにセットします。

6 ［参照］ボタンをクリックし、本機に付属のCD-ROMのDriverフォルダを指定し、［次へ］ボタンをクリックします。

7 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。」とメッセージが表示されたら、［次へ］ボタンをクリックし、インストールを開始します。

8 正常にドライバがインストールされると、「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

環境によっては、USBオーディオデバイスのインストールが必要になる場合があります。USBオーディオデバイスがインストールされていない場合は、つづいて「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。表示されない場合は、以降のインストール作業は必要ありません。

9 「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

※ 環境によって、Windows　MeのインストールCDが必要になる場合があります。その場合は、Windows MeのインストールCDをPCにセットし、適切なドライバを検索してください。

10 正常にドライバがインストールされると、「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

パソコンの設定をする

■ ドライバのインストールを確認する

1 システムのプロパティからデバイスマネージャを開きます。

＜Windows XPの場合＞

1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「システム」をクリックします。
4.「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5.［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

＜Windows 2000の場合＞

1.「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2.「ハードウェア」タブを選択します。
3.［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

＜Windows Meの場合＞

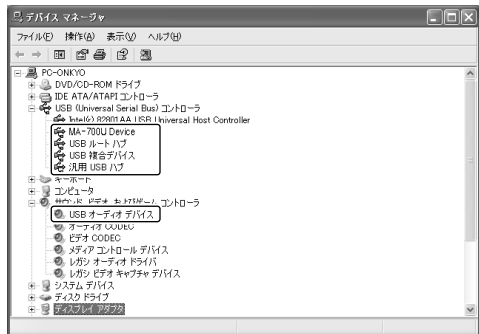
1.「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2.「デバイスマネージャ」タブを選択します。

2 以下のデバイス名があることを確認します。

「USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ」の「+」をクリックする

- MA-700U Device
- USB複合デバイス（USB互換デバイス）（USB Compatible Device）
- 汎用USBハブ

「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の「+」をクリックする

- USBオーディオデバイス（USB Audio Device）

※ 画面は、パソコンの設定や状況によって順番等が異なる場合があります。

■ オーディオデバイスを確認する

1 オーディオデバイスを確認するパネルを開きます。

＜Windows XPの場合＞

1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。
4.「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウを開きます。

＜Windows 2000の場合＞

1.「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開きます。

＜Windows Meの場合＞

1.「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開きます。

2「オーディオ」タブを選択します。

3「音の再生」と、「録音」の「既定のデバイス」が「USB Audio Device MA-700U」になっていることを確認します。異なる場合は変更してください。

OSによって、
「音の再生」は「再生」、
「既定のデバイス」は「優先するデバイス」、
「USB Audio Device MA-700U」は「USBオーディオデバイス」
となっています。

4「OK」ボタンを押します。

のアイコンがタスクバーにできていることを確認してください。ダブルクリックするとMA-700Uミキサーパネルが開きます。

確認したら、「OK」を押して閉じる

ヒント

タスクバーのアイコンをダブルクリックしても開かない場合は、サウンド機器としてMA-700Uの選択をリセットすると状況が改善する場合があります。下記の手順を試みてください。

① 上記の方法で再度手順3まで行います。
「音の再生」および「録音」の既定のデバイスが、いずれも「USB Audio Device MA-700U」になっているのを確認します。

② 両方ともいったん別のデバイスに変えて［適用］ボタンをクリックします。

③「音の再生」および「録音」の規定のデバイスを、再度「USB Audio Device MA-700U」に選択しなおします。

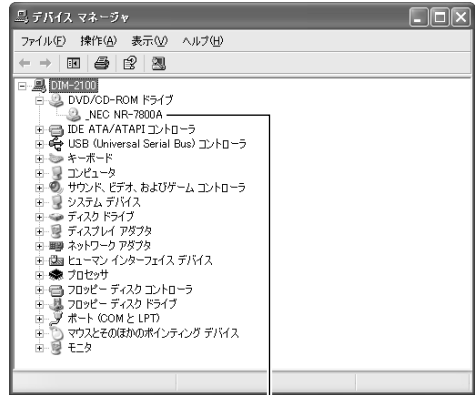
④［適用］ボタンをクリックしてから［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

■ 音楽CDを再生するための設定をする

1 「マルチメディアのプロパティ」画面（もしくは「DVD/CD-ROMドライブのプロパティ画面」）を開きます。

<Windows XPの場合>

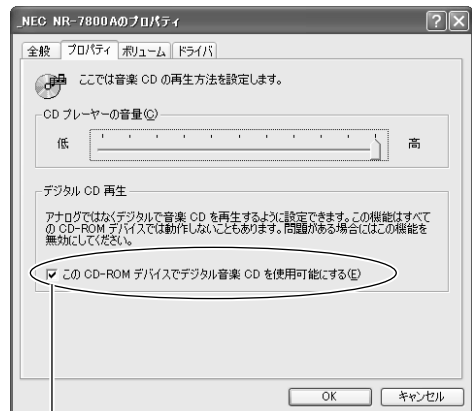
1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「システム」をクリックします。
4. 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5. ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。
6. 音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを選択します。

<Windows 2000の場合>

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2. 「ハードウェア」タブを選択します。
3. ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。
4. 音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを選択します。

<Windows Meの場合>

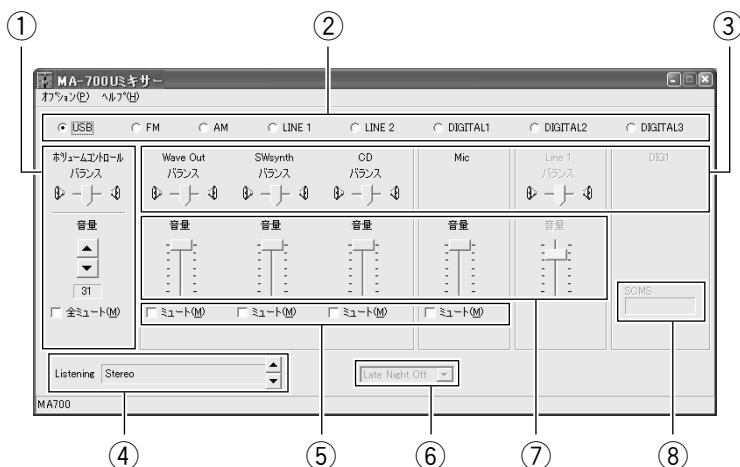
1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2. 「デバイスマネージャ」タブを選択します。
3. 音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを選択します。

2 「このCD-ROMデバイスで･･･」にチェックマークを入れます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

■ MA-700Uミキサーパネルの確認

MA-700Uミキサーパネルを使うと、パソコン上で再生ソースを選んだり、音量を調整したり、音量の左右バランスを調整したりできます。MA-700U本体と連動していますので、MA-700U本体やリモコンで操作した場合も、このパネル表示が変わります。

タスクバーのアイコンをダブルクリックする

MA-700Uミキサーパネルが開きます。

① **ボリュームコントロール**
音量や左右の音量バランスを調整します。ミューティングをかけることもできます。

② **入力ソースボタン**
入力ソースを選びます。

③ **バランススライダー**
左右の出力バランスを調整します。マイク入力（Mic）はモノラルのため、バランスの調整スライダーはありません。

④ **Listeningモード**
リスニングモードをStereoとTheater-Dimensionalから選べます。

⑤ **ミュートチェック**
再生中の音声（Micの場合は録音中の音声）を消します。

⑥ **Late Night選択**
ドルビーデジタルソフトを再生するときにレイトナイトオン/オフを切り換えます。

⑦ **音量スライダー**
音量を調整します。

⑧ **SCMS**
現在入力されているデジタル信号のコピーガードシステムの状態を表示します。

曲の頭の再生がうまくいかないときは、MA-700Uミキサーパネルの「オプション」→「スムージング・モード」にチェックマークを入れます。ただし、録音中は、絶対にスムージング・モードに切り換えないでください。

ヒント

MA-700Uミキサーパネルのアイコンがタスクバーに見つからない場合は、ドライバが正しく認識されていません。ドライバのインストールおよびオーディオデバイスを確認してください（→27〜32ページ）。
また、アイコンをダブルクリックしてもMA-700Uミキサーが開かない場合は、「オーディオデバイスを確認する」の「ヒント」をご覧ください（→32ページ）。

■ デジタルAVソフト「CarryOn Master」（キャリオン・マスター）

- **ミュージックファイルの作成・管理を手軽に行える統合デジタルAVソフト**
  簡単操作で、音楽CDからWAVファイルがダイレクトに作成できるだけでなく、MP3Pro・WMA・OGGへのエンコードにも対応。
- **録音した曲は、ミュージックライブラリ機能で一括管理。以前から持っていたミュージックファイルも、これからはスマートに管理**
  プレイリスト機能を使えば、好みの曲順で聞けるだけでなく、アーティスト別・アルバム別などに登録して、その日の気分で聞き分けることも可能です。
- **CDDB2（CD情報データベース）にも対応**
  インターネットにアクセスできる環境があれば、音楽CDのタイトル情報を検索・取得できます。もちろん、入力は日本語でも英語でも可能です。
- **DVDビデオ再生機能搭載**
  DVD-ROMドライブ搭載のパソコンでDVDを再生することができます。

CarryOn Masterの画面

- **TIMER機能を搭載**
  MA-700Uとの連携でFM/AM放送のパソコンへの録音や再生などが手軽に行えます。
- **カスタマイズリモコンで快適操作**
  パソコンでお好みの操作をリモコンに登録させられます。離れたところからでもパソコン操作が可能になります。

より詳しくは

「CarryOn Master取扱説明書」をご覧ください。
また、CarryOn Masterの最新情報についてはこちらをご覧ください。
（http://www.wavio.net/）（2003年6月現在）

用語解説

MP3Pro（MPEG Audio Layer3）ファイルとは?（エムピースリープロ　エムペグ　オーディオ　レイヤースリー）
ミュージックファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
Windowsの代表的なミュージックファイル形式WAVEなどと比較すると、ファイル容量が1/10程度に圧縮され、音質もほとんど劣化しないのが特長といわれています。

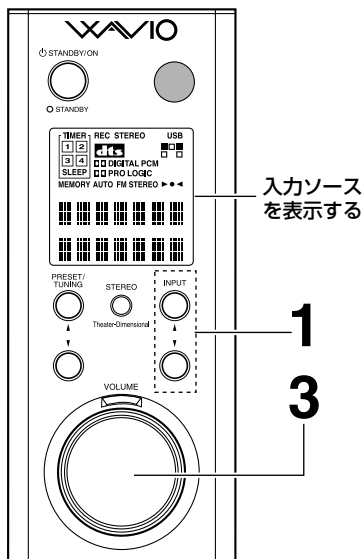
WAVファイルとは?（ウエーブ）
Windowsで標準的なミュージックファイルの形式。WAVEファイルと同じ。
音声データをサンプリングして、パソコン用のデータとして保存したファイルのことです。

WMA（Windows Media Audio）ファイルとは?（ダブリューエムエー　ウィンドウズ　メディア　オーディオ）
Microsoft社が開発したミュージックファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
音楽CD並みの音質と、デジタル著作権を主張できることが特長になっています。

OGG（Ogg Vorbis）ファイルとは?（オッグ　オッグ　ボルビス）
ファイル容量はMP3やWMAと同程度で、可変ビットレートを基本としています。新しく開発されたオープンな汎用オーディオ圧縮フォーマットです。

機器を選んで演奏する

■ 基本操作

本体

リモコン

1 INPUT ▲/▼ボタンまたはリモコンのINPUT ◀/▶ボタンを押して、入力ソースを選ぶ

表示部に選んだソースが表示されます。
ボタンを押すたびにDIG1→DIG2→DIG3→USB→FM→AM→LINE1→LINE2...と切り換わります。各入力選択時の信号の流れは次のページのようになっています。

- USB UP端子にケーブルが接続されていない場合や接続されていてもパソコンの電源がオフの場合、“PCM”インジケーターがゆっくり点滅します。
- DIGITAL 1～3についても、それぞれの対応する端子にケーブルが接続されていない場合や、接続した機器の電源がオフの場合、“PCM”インジケーターがゆっくり点滅します。

2 選んだ機器の演奏を始める

- 操作方法については、各機器やパソコンに付属の説明書をご覧ください。
- FM/AM放送を選んだ場合、44ページ「ラジオを聞く」をご覧ください。

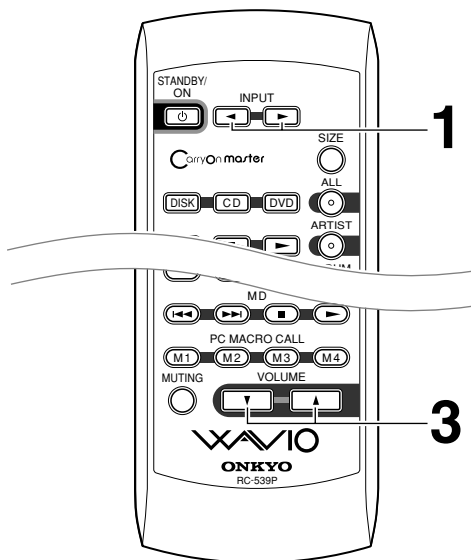
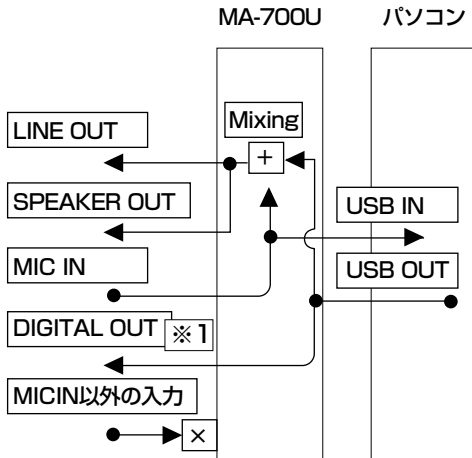
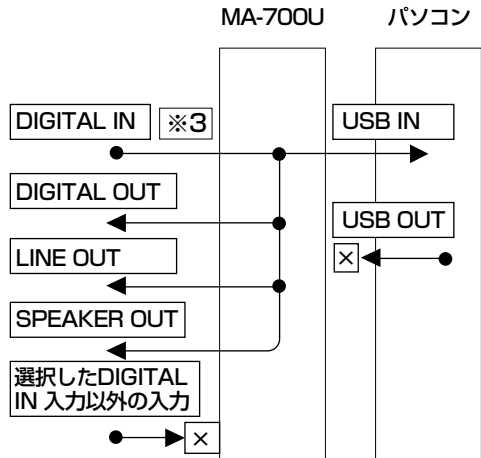
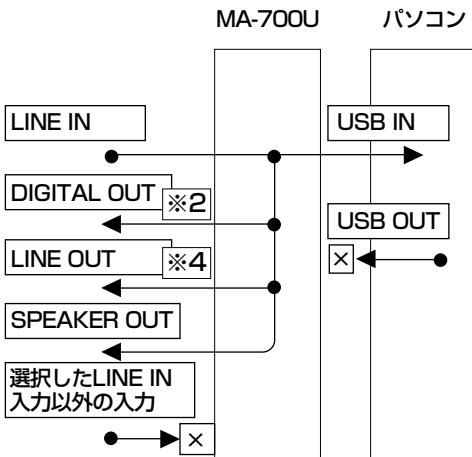
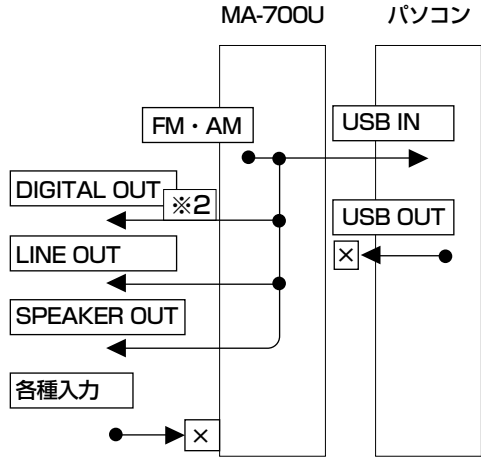
3 VOLUMEツマミまたはリモコンのVOLUME ▲/▼ボタンで音量を調整する

Min、1～79、Maxの範囲で調整できます。
VOLUMEツマミは、右に回すと音量が上がり、左に回すと下がります。
リモコンのVOLUMEボタンは、▲を押すと音量が上がり、▼を押すと下がります。

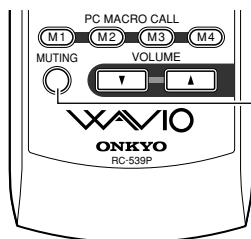
ご注意

FM/AMまたはLINE1、LINE2に接続された機器を演奏する場合、INPUT LEVELつまみを回すことでも音量が変わります。音声が出てこない場合は、INPUT LEVELの値が小さくなっていないか確かめてください。

DTSについてのご注意

- DTS対応のCDやLDをLINE 1/MDやLINE 2の入力端子のみに接続した外部機器でアナログ再生すると、DTS信号をそのまま再生するため、ノイズが出力されます。このノイズを再生すると、MA-700Uやスピーカーにダメージを与える恐れがありますので、DTS対応のCDを再生するときは必ずDIGITAL IN 1～3端子に接続し、入力ソースをDIG1～3にしてから再生してください。

■ 入力の選択と信号の流れ

※ ヘッドホン使用時はSPEAKER OUTがPHONES OUT出力になります。
※1 CarryOn Masterで再生時のみデジタル出力可能です。
　著作権のかかったMP3、WMAファイルなどの音声は出力できません。
　サンプリング周波数が32kHz, 44.1kHz, 48kHzの音声のデジタル出力が可能です。
　付属のWinDVD4で再生した時のみ、DolbyDigital、DTS信号のパススルー出力が可能です。
※2 デジタル信号出力のサンプリング周波数は48kHzとなります。
※3 著作権のかかった音声はパソコンへのデジタル入力はできません。
　サンプリング周波数が32kHz, 44.1kHz, 48kHzのデジタル信号の入力が可能です。
※4 LINE 2 IN入力の時のみLINE OUT出力可能です。LINE 1 IN入力の時はLINE OUT出力しません。

■ 音を一時的に消す（ミューティング機能）

音楽を聞いているときに電話がかかってくるなどして、すぐに音を小さくしたいときに役立ちます。

MUTINGボタンを押す

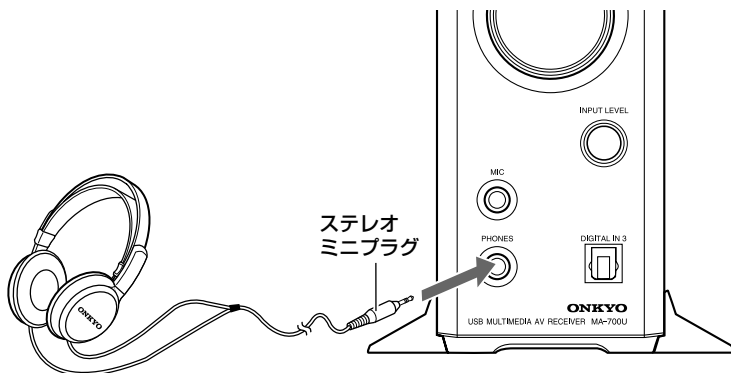
VOLUMEの上のミュートインジケーターが点滅し、一時的に音量を下げます。

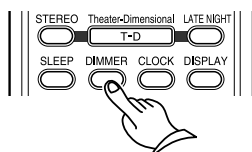
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

ご注意

スタンバイ状態にすると、次に電源を入れたとき、ミューティング機能は解除されています。

■ ヘッドホンで聞く

ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は出力されなくなります。

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続する

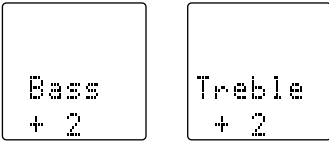
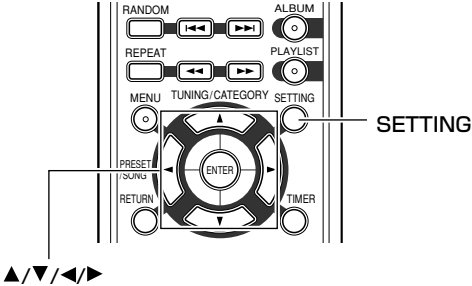
■ 表示部の明るさを変える（ディマー機能）

リモコンのDIMMER（ディマー）ボタンを押す

押すたびに表示部の明るさが3段階に切り換わります。

→ふつう →やや暗い →暗い →（ふつうに戻る）

音質調整や左右バランスの調整などができます。

■ 低音/高音を調整する（Bass/Treble）

ステレオモード（→42ページ）でのみ使用できます。

1 選んだ機器を演奏する

2 リモコンのSETTINGボタンを1回もしくは2回押して、表示部に「Bass」または「Treble」と表示させる

Bass: 低音を調整したいときに選びます。
Treble: 高音を調整したいときに選びます。

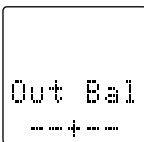
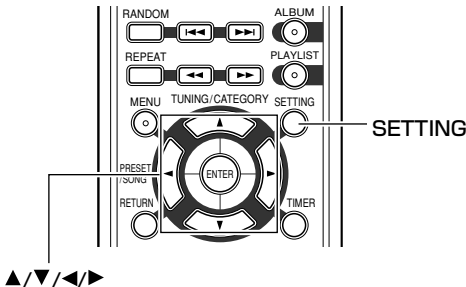
3 リモコンの▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、レベルを調整する

−10dB〜＋10dBの範囲を2dBステップで調整できます。

約8秒経過すると、元の表示に戻ります。

ご注意

USB入力でWinDVD4のドルビーヘッドフォンをご使用のときは使用できません。

■ 左右の音量バランスを調整する（Output Balance）

1 選んだ機器を演奏する

2 リモコンのSETTINGボタンをくり返し押して、表示部に「Out Bal」と表示させる

3 リモコンの▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、レベルを調整する

リモコンの▲/▼ボタンを押すと、センターバーが左右に動きます。−12dB〜＋12dBの範囲を1dBステップで調整できます。

約8秒経過すると、元の表示に戻ります。

■ 表示を確認する

リモコンのDISPLAYボタンを押すたびに、表示部が次のように切り換わります。

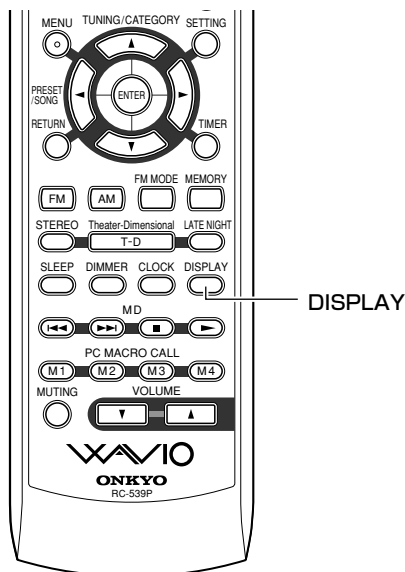
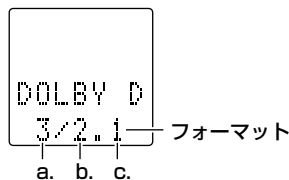
入力ソースがUSBのとき：

上：USB
下：リスニングモード
↓
上：音声信号
下：フォーマット（もしくはサンプリング周波数）
↓
上：USB/再生中のソース
下：チャプター番号やトラック番号

入力ソースがUSB以外で音声信号がアナログの場合：

上：入力ソース
下：リスニングモード
上記のみ

入力ソースがUSB以外で音声信号がデジタルの場合：

上：入力ソース
下：リスニングモード
↓
上：音声信号
下：フォーマット（もしくはサンプリング周波数）

音声信号がDOLBY* DIGITALやDTSで表示部にフォーマットが表示されたときの意味は、次のようになっています。

a. **フロントチャンネルの数**

3: 左フロント、センター、右フロントの3チャンネル

2: 左フロント、右フロントの2チャンネル

1: モノラル（1チャンネル）

b. **サラウンドチャンネルの数**

2: 左サラウンド、右サラウンドの2チャンネル

1: モノラル（1チャンネル）

0: なし

c. **入力信号に含まれているLFE（低域効果音）の有無**

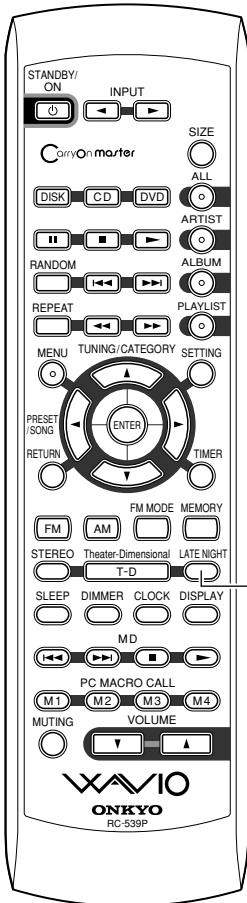
1: あり

空白: なし

例えば、「3/2」と表示された場合は、フロント3チャンネルとサラウンド2チャンネルがそれぞれ独立してエンコードされたソースであることを表しています。

*ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、Dolby、Pro　Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

■ 音量の大小幅を調整する（レイトナイト機能）

ドルビーデジタルソースを再生しているときにのみ使用できます。
ドルビーデジタル録音されたソフトを再生するとき、ダイナミックレンジ（音量の大小幅）を小さくします。夜中などに音量を絞って映画を鑑賞するとき、小さな音も聞こえやすくなります。
この機能は、本機をスタンバイ状態にすると解除されます。

LATE NIGHT

リモコンのLATE（レイト） NIGHT（ナイト）ボタンを押す

押すたびに2段階のレイトナイトモード（HIGH（ハイ）/LOW（ロー））とOFFを切り換えることができます。
HIGHにするとLOWよりさらに効果があります。

DD DIGITAL
L.Night
LOW

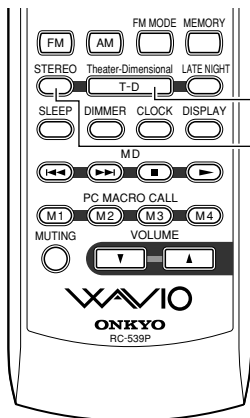
ご注意

- レイトナイト機能は、ドルビーデジタルソフトにのみ効果があります。表示部に「Not Dolby D」と表示された場合は、ドルビーデジタルソースかどうか確認してください。ドルビーデジタルソースの場合は、表示部に**DD DIGITAL**インジケーターが点灯しています。
- レイトナイト効果は、ドルビーデジタルソフトによって決まっていますので、ソフトによっては効果が少なかったり、効果がない場合もあります。

リスニングモードを楽しむ

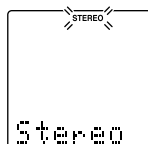
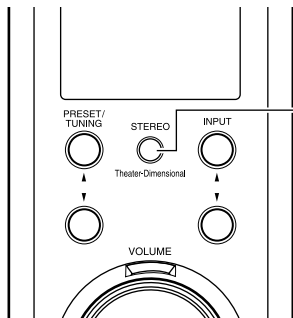
本機では、STEREO（ステレオ）モードとTheater-Dimensional（シアターディメンショナル）モードで聞くことができます。

STEREOモード: ステレオ音声をお楽しみいただけます。

Theater-Dimensionalモード: 2本のスピーカーでマルチチャンネル音声を楽しむことができます。

■ STEREO（ステレオ）モードで聞く

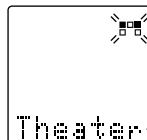
1 選んだ機器を演奏する

2 リモコンのSTEREOボタンを押す

STEREOインジケーターが点灯し、表示部にStereoと表示されたあと元の表示に戻ります。

■ Theater-Dimensional（シアターディメンショナル）で聞く

1 選んだ機器を演奏する

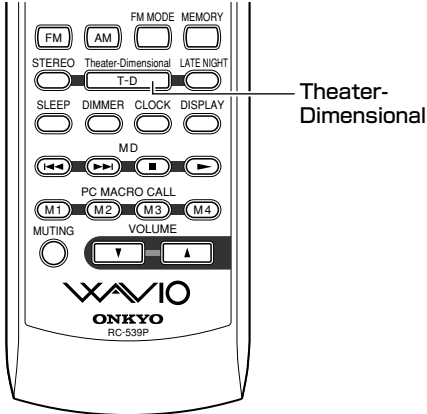
2 STEREOモードが選ばれている場合は、リモコンのTheater-Dimensionalボタンを押す。

インジケーターが点灯し、表示部にTheater-Dimensionalとスクロールしたのち、元の表示に戻ります。

本機のSTEREO/Theater-Dimensionalボタンを押して選ぶこともできます。押すたびに、ステレオモードとシアターディメンショナルモードが切り換わります。

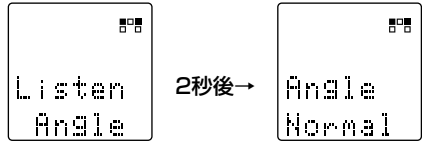
リスニングモードがすでにシアターディメンショナルモードのときにリモコンのTheater-Dimensionalボタンを押すと、リスニングアングル設定モードになります。リスニングアングルの設定は、シアターディメンショナルモードで最大の効果を得るためにはぜひしていただきたい設定です。次のページをご覧になり、設定してください。

■ Theater-Dimensional(シアター ディメンショナル)モードのリスニングアングルを選ぶ

Theater-Dimensionalモードは、左右それぞれの耳に届く音の特性をコントロールすることによって実現していますので、その効果を最大限に体験できる視聴位置（スイートスポット）が存在します。

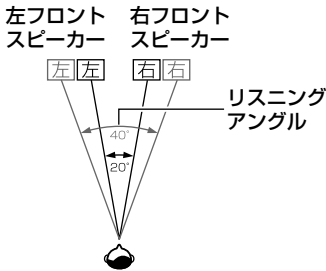
最適なシアターディメンショナル効果を得るために、リスニングアングルの調整を行ってください。リスニングアングルとは、視聴者から見た左右フロントスピーカーに対する角度のことです。

1 リスニングモードをTheater-Dimensionalにする

2 さらにリモコンのTheater-Dimensionalボタンを押して「Listen Angle」を表示させる

2秒後に現在の設定が表示されます。

3 リモコンのTheater-Dimensionalボタンを押して、最適なリスニングアングルに設定する

Theater-Dimensionalボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

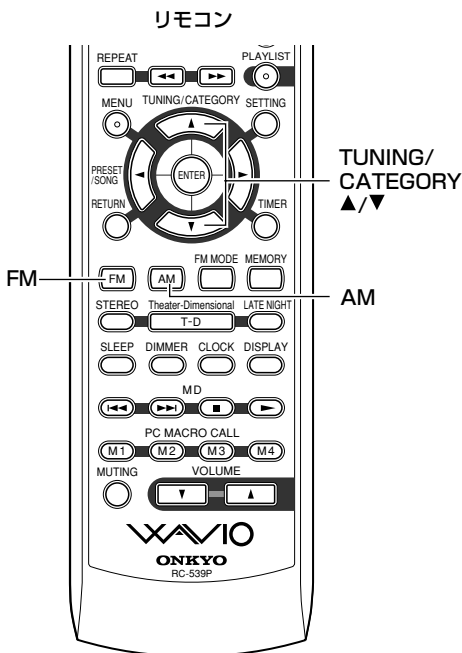
Normal: 約30°の角度です。
Wide: 約40°の角度です。
Narrow: 約20°の角度です。

反射音が大きい部屋ですと、まれに期待した効果が得られない場合もありますので、できるだけ反射音の少ない環境にすることをおすすめします。

左と右のスピーカーが離れるほど、視聴者との角度が広がります。

ラジオを聞く

ラジオを聞くには、手動でチューニングする方法と放送局を記憶させてから選局する方法の二つがあります。

リモコン

本体

■ 手動でチューニングする

FM放送を聞く

1 リモコンのFMボタンを押す

もしくは本体のINPUT▲/▼ボタンでFMを選びます。

2 リモコンのTUNING/CATEGORY ▲/▼ボタンを0.5秒以上押してから放す

自動的に周波数が上がり（下がり）放送局を受信します。周波数が点滅している間に押すと、0.1MHz単位で調整できます。

本体で操作する場合は、PRESET/TUNING ▲/▼ボタンを0.5秒以上押します。（0.5秒以内の場合はプリセット局を選択します。）

受信周波数範囲は76.0MHz～90.0MHzです。

AM放送を聞く

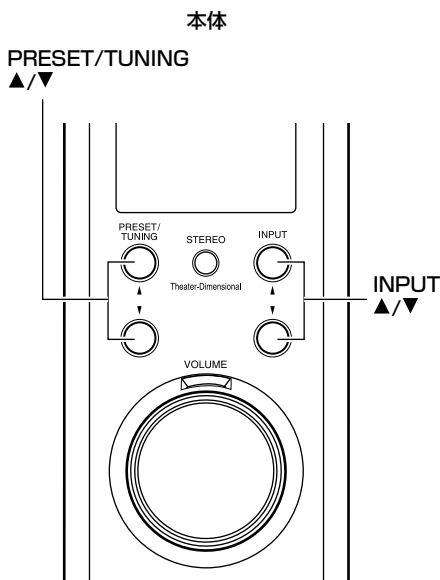
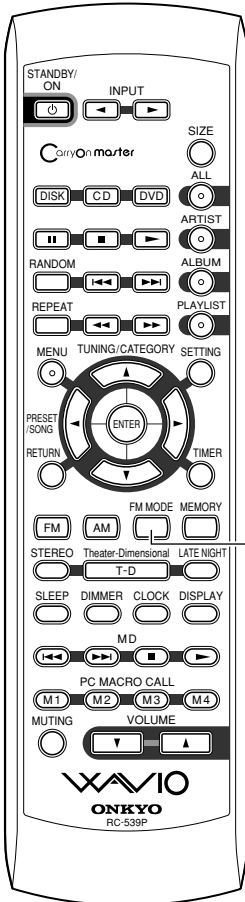
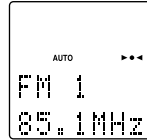
1 リモコンのAMボタンを押す

もしくは本体のINPUT▲/▼ボタンでAMを選びます。

2 リモコンのTUNING/CATEGORY ▲/▼ボタンを押す

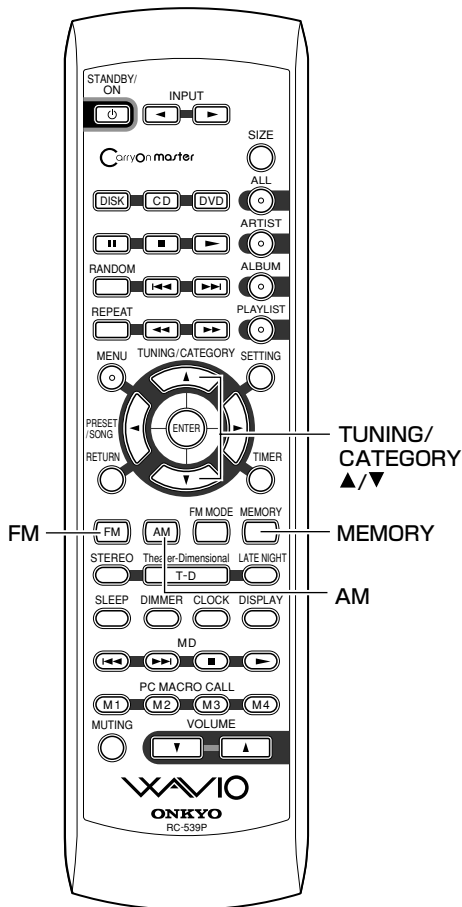
0.5秒以上押すと、周波数がすばやく上がり（下がり）ます。受信したい周波数付近で指を放します。点滅している間にボタンを押すと、9kHz単位で調整できます。

本体で操作する場合は、PRESET/TUNING ▲/▼ボタンを0.5秒以上押します。（0.5秒以内の場合はプリセット局を選択します。）

受信周波数範囲は522kHz～1629kHzです。

■ オート/モノを切り換える（リモコンのみ）

FMステレオ放送を受信する場合はリモコンのFM MODEボタンを押し、“AUTO”を表示させる。

- オートモードでFMステレオ放送を受信すると“FM STEREO”インジケーターが点灯します。

- 電波の弱い所や雑音の多い所では“FM STEREO”インジケーターは点灯しません。
“FM STEREO”インジケーターが点滅している場合はもう一度FM MODEボタンを押して、“AUTO”インジケーターを消してモノラル受信してください。雑音や音の途切れを軽減することができます。
- 受信状態の悪い場合は、室内アンテナの方向を変えたり、窓際などの電波の強い場所へ移動してみてください。それでも改善されない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。

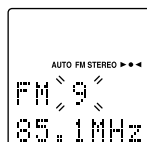
■ 希望の放送局を受信し、記憶させる（プリセットメモリー）

この操作はリモコンで行います。記憶させることのできる放送局はAM、FM合わせて30局です。30局を超えると“Memory Full”になり、それ以上は記憶できません。

1 FMもしくはAMボタンを押す

2 TUNING/CATEGORY ▲/▼ボタンを押して、希望の放送局（周波数）を選ぶ

詳しくは、44ページをご覧ください。

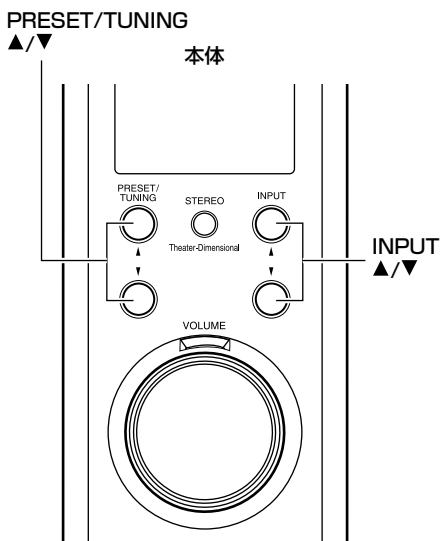
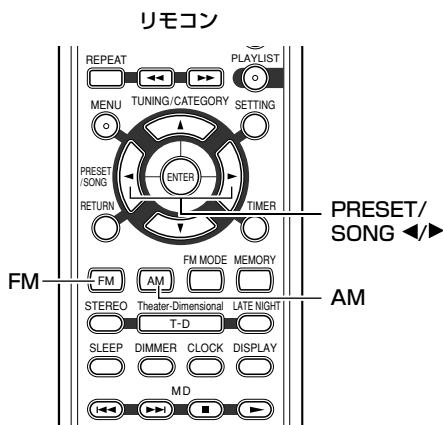
3 MEMORYボタンを押す

プリセット番号が点滅します。すでにプリセットしている番号に上書きしたいときはPRESET/SONG◀/▶ボタンを押してプリセット番号を選ぶこともできます。

MEMORYボタンを押したあとに約8秒間次の操作をしなかった場合、元の周波数表示に戻ります。

4 MEMORYボタンを押す

点滅していたプリセット番号が点灯に変わります。

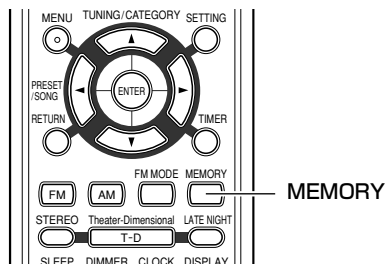
次の放送局をメモリーするには、手順2～4をくり返します。

■ プリセットした放送局を聞く

1 **リモコンのFMまたはAMボタンを押す**

もしくは本体のINPUT▲/▼ボタンでFMまたはAMを選びます。

2 **リモコンのPRESET/SONG ◀/▶ボタンを押す**

もしくは本体のPRESET/TUNING▲/▼ボタンを押します。

■ プリセットした放送局を消すには

1 **上記「プリセットした放送局を聞く」の方法にしたがって、消したい放送局を選ぶ**

2 **MEMORYボタンを押す**

表示部に“Erase”が8秒間点滅します。

3 **点滅している間にMEMORYボタンを押す**

プリセット番号が消去されます。

録音する

録音を始める前にお読みください。

■ いろいろな録音のしかた

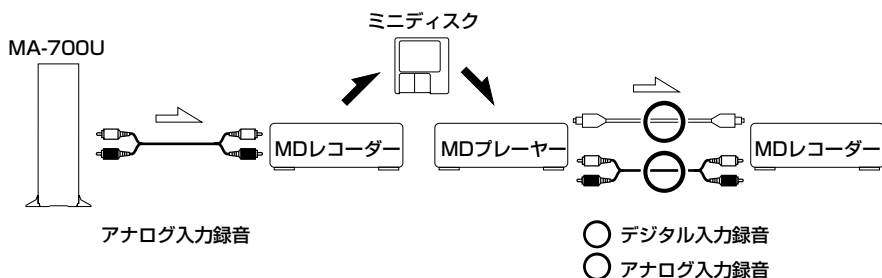
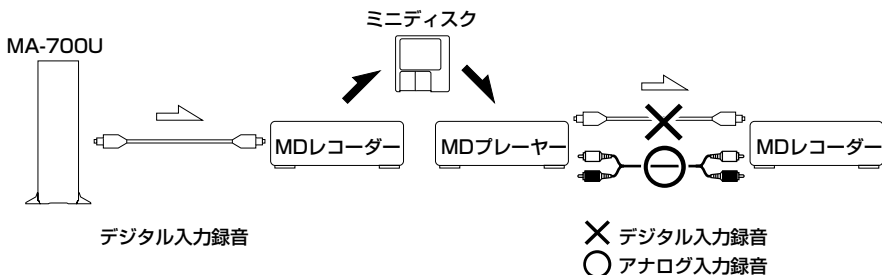
本機を使って次のような録音ができます。

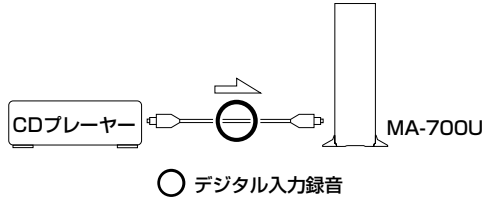
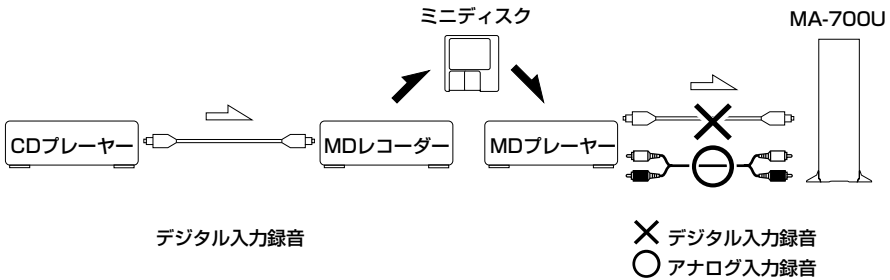
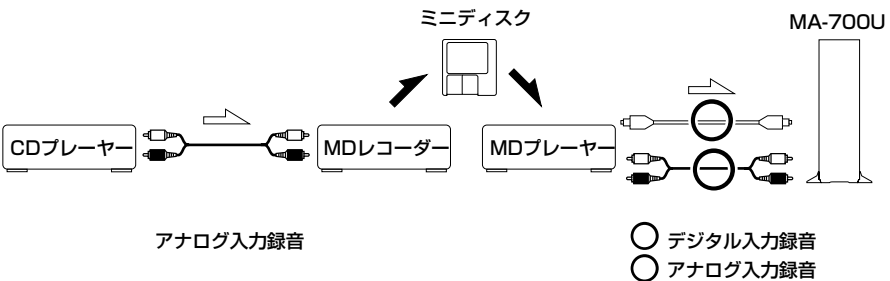
①アナログ音声をCarryOn Masterを使ってパソコンに録音する（→50ページ）
②デジタル音声をパソコンに録音する（→54ページ）
③パソコンの音声をCD-RやMDレコーダーにデジタル録音する（→56ページ）
④アナログ音声をMA-700Uに接続した録音機器に録音する（→58ページ）

ご注意
あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■ コピーガードシステムについて

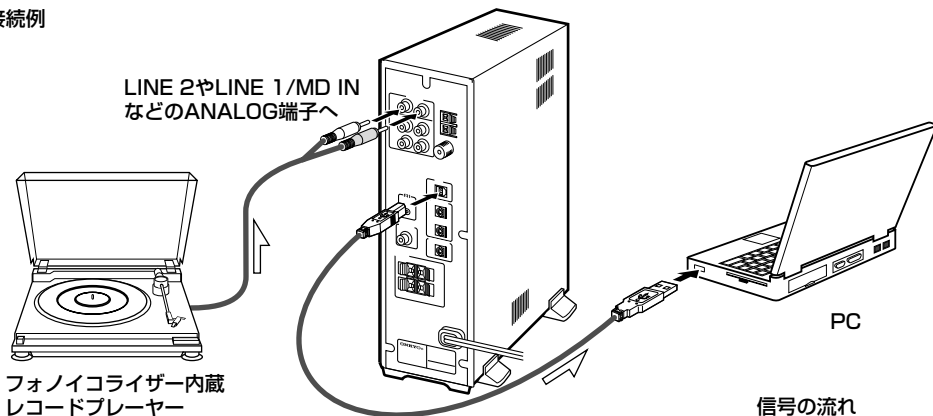
MA-700Uのデジタル入力はコピーガードシステムによって保護されています。
このシステムはデジタル信号をデジタル信号のまま録音することが可能ですが、後述の制限事項があります。この制限事項は著作権の保護を目的としており、著作権を侵害するような動作を制限するために設けられています。

1. **MA-700Uのデジタル出力からMDやCD-Rなどにデジタル録音した信号は、デジタル信号のまま他のメディアに録音することはできません。**
   - いったんアナログ信号として録音したMDのデジタル信号をMDレコーダーに入力することは可能です。

   - MA-700Uからデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、MDプレーヤーへデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

2. **CDやMD、CD-Rなどデジタル信号で音声データを記録しているメディアからMA-700Uのデジタル入力端子に直接デジタル信号を入力することができます。**
 ただし、一度デジタル信号からデジタル信号のまま録音された音声データをMA-700Uに入力した場合、録音はできません。

- CDから直接デジタル信号で入力された音声データは、MA-700Uへデジタル入力することができ、録音も可能です。

- CDからデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、本機へデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

- CDに記録されている音声データをいったんアナログ信号として録音したMDからデジタル信号としてMA-700Uに入力することは可能です。

■ アナログ音声をCarryOn Masterを使ってパソコンに録音する

FM/AM放送やマイクの音声、ANALOG LINE 2やLINE 1/MD IN端子に接続しているテープデッキの音声などを、パソコンに録音することができます。（アナログ→デジタル録音）

26ページを参照し、正しく接続されていることをお確かめください。また、前もってCarryOn Masterをインストールしておいてください。（CarryOn Master取扱説明書参照）

接続例

1 タスクバーのアイコンをダブルクリックする

アイコンがタスクバーに見つからない場合は、ドライバが正しく認識されていません。27～32ページを参照しながら、ドライバのインストールおよびオーディオデバイスを確認してください。

2 MA-700Uミキサーの一番上のパネルから録音ソースを選ぶ

MA-700UのINPUT▲/▼ボタンもしくはリモコンの◀/▶ボタンを押して選ぶこともできます。MA-700UミキサーとMA-700U本体は連動していますので、どちらで選んでも表示は同時に変わります。

FM、AM、LINE1、LINE2から選びます。
マイクの音声を録音するときは、USBを選んでください。

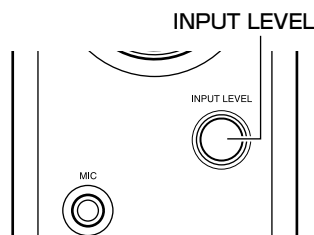
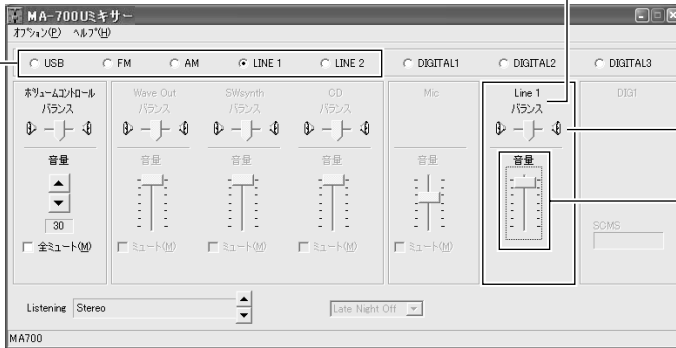
3 入力ソースを再生する

2で選んだソースを再生します。いつも聞く音量にしてください。

4 音を聞きながらMA-700Uミキサーで音量（録音レベル）を調整する

MA-700UのINPUT LEVELつまみで調整することもできます。MA-700UミキサーとMA-700UのINPUT LEVELつまみは連動しています。INPUT LEVELつまみでレベルを上げ下げすると、MA-700Uミキサーのスライドバーもアップダウンします。

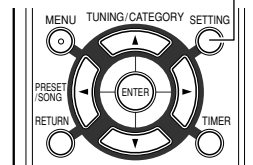
ご注意

録音中にINPUT（入力）を切り換えないでください。正しい録音ができません。

MA-700Uミキサーパネル

5 音を聞きながらMA-700Uミキサーで左右のバランスを調整する

リモコンで調整することもできます。

①リモコンのSETTINGボタンをくり返し押して表示部に「Inp Bal」を表示させます。

②リモコンの▲/▼または◀/▶ボタンを押すと、センターバーが左右に動きます。−12dB〜＋12dBの範囲を1dBステップで調整できます。

MA-700Uミキサーとリモコンのインプットバランス調整は連動しています。リモコンでバランスを調整すると、MA-700Uミキサーのスライドバーも左右に動きます。

6 CarryOn Musicを起動する

CarryOn Masterの取扱説明書もご用意ください。

7 ［LINE］をクリックする

ラインパネルが開きます。

CarryOn Master LINEパネル

CarryOn Masterで録音すると、初期状態ではWAVファイルで、サンプリング周波数44.1 kHzで録音されます。これらの設定はSETTINGボタンをクリックすることでお好みに合わせて変更できます（SETTING→ライン入力録音タブ）。詳細はCarryOn Masterの取扱説明書をご覧ください。

CarryOn Master LINEパネル

8 録音ボタン［●］をクリックする

録音待機状態になります。

9 入力ソースの再生を始める

FM/AM放送の場合は、録音を始めたいところで▶ボタンをクリックします。再生に同期して録音が始まります。

10 録音が終わったら、停止ボタン［■］をクリックする

CarryOn Musicで、必要に応じて下記の編集をすることができます。

- ファイル名、タイトル、アーティスト名、アルバム名の入力（EDIT）
- ファイル分割（MARK ADD）
- エフェクトをかける（EFFECTパネル）
- 保存先の指定（SETTING→保存タブ）

詳しくはCarryOn Masterの取扱説明書をご覧ください。

11 ［SAVE］をクリックする

録音内容が保存されます。ファイル名は自動的に決定され、DISKパネルのライブラリに登録されます。ファイル名の変更などが必要な場合は、ワイドパネルに切り換えて必要箇所を書き換え、再度［SAVE］をクリックしてください。

FM/AM放送をCarryOn Musicにタイマー録音するには

MA-700UのタイマーとCarryOn Musicの録音機能を連動させることができます。前もって、下記の準備をしてください。

- MA-700Uで録音したい放送局をプリセットしておく。（→46ページ）
- パソコンにCarryOn Musicをインストールしておく。（→CarryOn Master取扱説明書）
- MA-700UとパソコンをUSBケーブルで接続する。（→26ページ）
- MA-700Uで現在時刻と曜日を合わせておく。（→59ページ）
- パソコンを起動させる。

ご注意

パソコンにスタンバイや休止の設定を行っている場合は必ず解除してください。

1 50ページの「アナログ音声をCarryOn Masterを使ってパソコンに録音する」の手順1〜5にしたがって、録音レベルを調整しておく

2 63〜65ページの「タイマー予約をする」の手順1〜10にしたがって、タイマー録音の設定をする

ここでは、設定の一例をあげますので参考にしてください。

〈例〉**プリセット番号3**にセットした**AM放送局**を、**月曜〜土曜の毎日同じ時間（18:50〜19:05）**に録音する、という内容を**Timer1**にセットする場合。

操作はリモコンで行います。

1. TIMERボタンを押して**Timer1**を選び、ENTERボタンを押す。
2. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してTypeを**「Rec」**にし、ENTERボタンを押す。
3. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してSourceを**「AM」**にし、ENTERボタンを押す。
4. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してプリセット番号を**「3」**にし、ENTERボタンを押す。
5. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してTargetを**「USB Rec」**にし、ENTERボタンを押す。
6. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してOnc/Eveを**「Every」**にし、ENTERボタンを押す。
7. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してDay Setを**「DaysSet」**にし、ENTERボタンを押す。
8. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してStartを**「MON」**にし、ENTERボタンを押す。
9. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してEndを**「SAT」**にし、ENTERボタンを押す。
10. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してONを**「18:50」**にし、ENTERボタンを押す。
11. カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押してOFFを**「19:05」**にし、ENTERボタンを押す。

3 表示部の左上、TIMERの枠内に1が点灯しているか確認する

4 STANDBY/ONボタンを押してMA-700Uをスタンバイ状態にする

時間が来るとMA-700Uの電源が入ってCarryOn Musicが自動的に立ち上がり、録音が始まります。その後、録音は自動的に終了し、CarryOn Musicの画面には波形が表示された状態で停止します。必要に応じて、CarryOn Music上でEDIT、MARK ADD、 EFFECTなどで録音データを加工することができます。

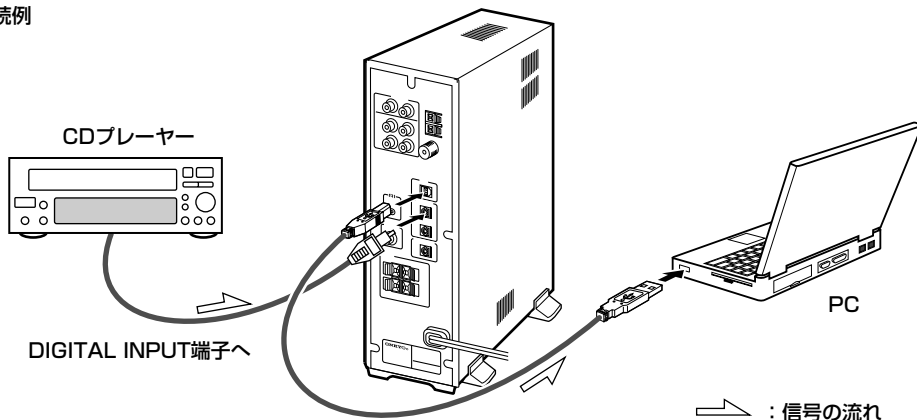
5 [SAVE] をクリックする

録音内容が保存されます。

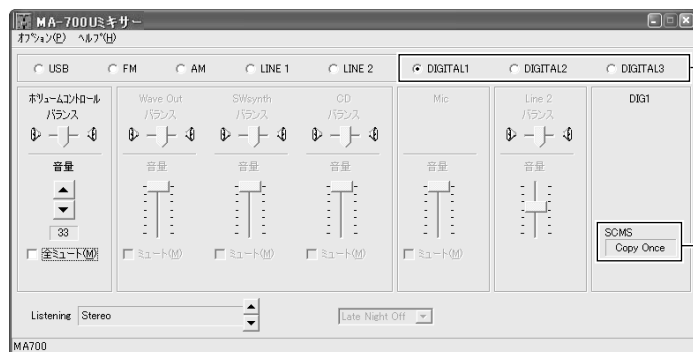
■ デジタル音声をパソコンに録音する

CSチューナーの音声やCDの音声などを、パソコンに録音することができます。（デジタル→デジタル録音）

26ページを参照し、正しく接続されていることをお確かめください。また、前もってCarryOn Masterをインストールしておいてください。（CarryOn Master取扱説明書参照）

接続例

1 タスクバーのアイコンをダブルクリックする

アイコンがタスクバーに見つからない場合は、ドライバが正しく認識されていません。27～32ページを参照しながら、ドライバのインストールおよびオーディオデバイスを確認してください。

MA-700Uミキサーパネル

2 MA-700Uミキサーの一番上の項目から録音ソースを選ぶ

MA-700UのINPUT▲/▼ボタンもしくはリモコンの◀/▶ボタンを押して選ぶこともできます。MA-700UミキサーとMA-700U本体は連動していますので、どちらで選んでも表示は同時に変わります。

DIGITAL1、DIGITAL2、DIGITAL3から選びます。

3 入力ソースを再生する

2で選んだソースを再生します。

ご注意

録音中にINPUT（入力）を切り換えないでください。正しい録音ができません。

4 CarryOn Masterを起動する

5 ［LINE］をクリックする

ラインパネルが開きます。

CarryOn Master LINEパネル

CarryOn Masterで録音すると、そのデジタル周波数のサンプリング周波数のまま録音されます。

6 録音ボタン［●］をクリックする

録音待機状態になります。

7 入力ソースの再生を始める

再生に同期して録音が始まります。

8 録音が終わったら、停止ボタン［■］をクリックする

9 ［SAVE］をクリックする

録音内容が保存されます。ファイル名は自動的に決定され、DISKパネルのライブラリに登録されます。ファイル名の変更などが必要な場合は、ワイドパネルに切り換えて必要箇所を書き換え、再度［SAVE］をクリックしてください。

ご注意

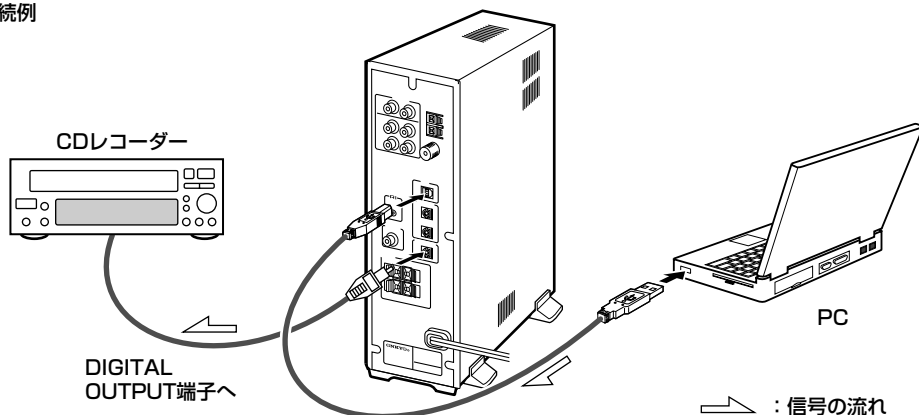
本機のデジタル入力はコピーガードシステムによって保護されています。SCMSに「Cannot Copy」と表示されるデジタル音声はデジタル録音できません。

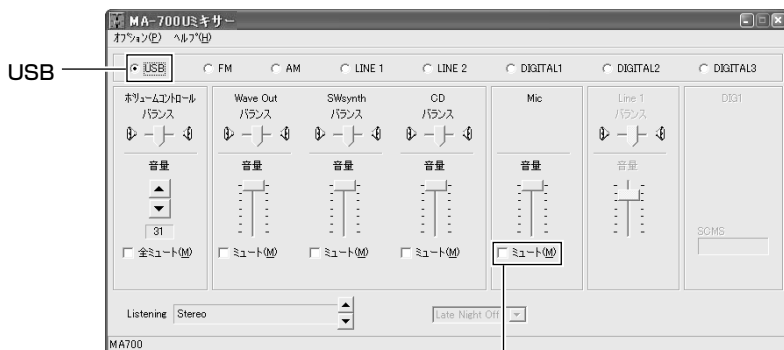
■ パソコンの音声をCD-RやMDレコーダーにデジタル録音する

パソコンで作成したミュージックファイルやパソコンで聞いているインターネットラジオを録音したりできます。（デジタル→デジタル録音）

20、26ページを参照し、正しく接続されていることをお確かめください。また、前もってCarryOn Masterをインストールしておいてください。（CarryOn Master取扱説明書参照）

CarryOn　Musicを使ってオンキヨー製MDレコーダーに簡単に録音することができます。CarryOn Masterの取扱説明書をご覧ください。

接続例

1 タスクバーのアイコンをダブルクリックする

アイコンがタスクバーに見つからない場合は、ドライバが正しく認識されていません。27〜32ページを参照しながら、ドライバのインストールおよびオーディオデバイスを確認してください。

2 MA-700Uミキサーの一番上の項目からUSBを録音ソースに選ぶ

MA-700UのINPUT▲/▼ボタンもしくはリモコンの◀/▶ボタンを押して選ぶこともできます。MA-700UミキサーとMA-700U本体は連動していますので、どちらで選んでも表示は同時に変わります。

ご注意

録音中にINPUT（入力）を切り換えないでください。正しい録音ができません。

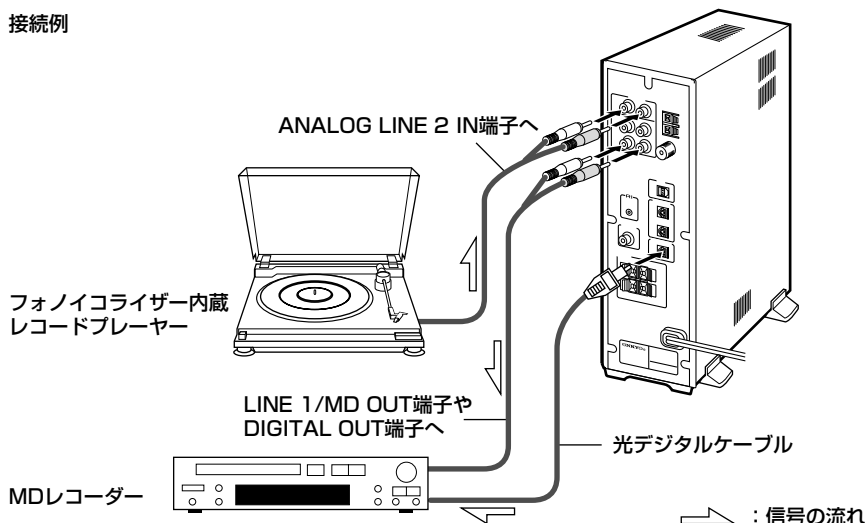
3 MDレコーダーに録音用ディスクを入れる

4 MDレコーダーで録音を始め、パソコンで音声を再生する

CarryOn Masterで再生する場合は、CarryOn Masterの取扱説明書をご覧ください。

■ アナログ音声をMA-700Uに接続した録音機器に録音する

ANALOG LINE 2 IN端子に接続している機器の音声を、LINE 1/MD OUT端子に接続したカセットデッキやDIGITAL OUT端子に接続したMDレコーダーなどに録音することができます。マイクの音声は録音できません。
FM/AM放送を録音する場合はMA-700Uと録音機器を接続してください。

接続例

1 MA-700UのINPUT▲/▼ボタンもしくはリモコンの◀/▶ボタンを押して再生するソースを選ぶ

FM、AM、LINE1、LINE2から選びます。

2 録音する機器側の準備をする

- 録音機器を録音待機状態にします。
- 録音レベルは固定ですので、MA-700UのINPUT　LEVELを回しても録音レベルは変わりません。録音レベルの調整は録音機器側で行ってください。
- 録音のしかたについては、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

3 録音を始める

1で選んだソースを再生します。

録音中にINPUT（入力）を切り換えないでください。正しい録音ができません。

現在時刻と曜日を合わせる

■ 時刻合わせをする

本書では24時間表示での設定方法を説明していますが、12時間表示に切り換えることもできます。

ご注意

- 時計を合わせたあとで停電があったり、電源コードをコンセントから抜いた場合は、時刻を忘れます。この時は再度、時刻合わせをしてください。
- 時計機能をご使用になる場合は、必ずMA-700Uの電源コードを常時通電している電源コンセントに接続してください。

リモコンのみの操作です。

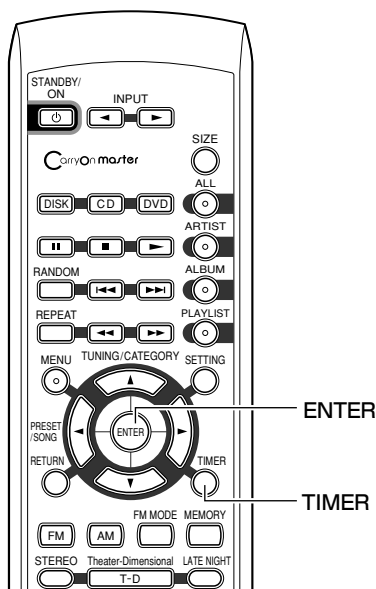
電源が入った状態で操作します。設定中、8秒間何も操作しないともとの表示に戻ります。

ヒント

24時間表示と12時間表示（AM/PM表示）に切り替えるためには：

手順4で時計表示が点滅しているときにDISPLAYボタンを押します。

時計合わせを最初からやり直したいときは：

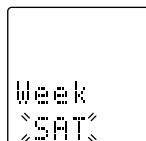
TIMERボタンを押して最初からやり直してください。

1 リモコンのTIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、"Clock（クロック） Adjust（アジャスト）"を表示させる

"Clock Adjust"が表示されたら、ENTER（エンター）ボタンを押します。

2 ▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、曜日を合わせる

曜日が点滅していますので、希望の曜日を選びます。

曜日の表示は下記の通りです。

SUN （日曜日）
MON （月曜日）
TUE （火曜日）
WED （水曜日）
THU （木曜日）
FRI （金曜日）
SAT （土曜日）

3 ENTERボタンを押す

時間表示に変わります。

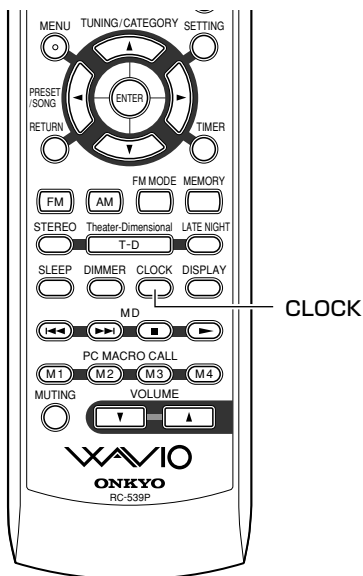
4 ▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、時刻を合わせる

ボタンを押し続けると、表示が速く進みます。

5 ENTERボタンを押す

時計がスタートします。時報などに合わせてENTERボタンを押してください。入力表示に戻ります。

現在時刻と曜日を合わせる

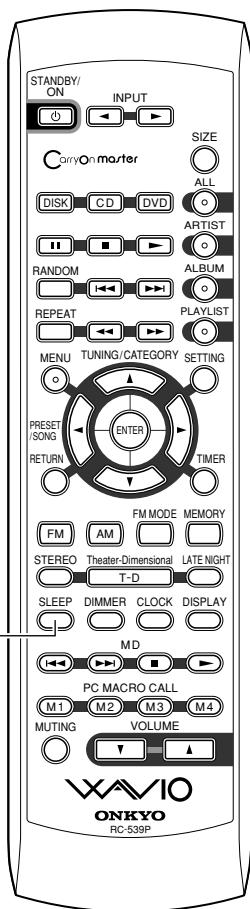
■ 現在時刻を表示する

リモコンのCLOCKボタンを押す

時計合わせが表示されていないと、“Clock Adjust”と表示されます。時計合わせをしてください。

再度、CLOCKボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。

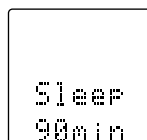
タイマー機能を使う

■ スリープタイマー

設定した時間がたつと、スタンバイ状態になります。

リモコンのSLEEPボタンを押して、スタンバイ状態になるまでの時間を設定する

「Sleep　90」が表示され、90分後にスタンバイ状態になる設定になります。

ボタンを押すたびに10分単位で設定時間が短くなります。

- スリープタイマー設定中は、SLEEPインジケーターが点灯します。

Sleep
90min

残り時間を確かめるには

スリープタイマーが予約されているときにSLEEPボタンを押すとスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。
ただし、残り時間が10分以下の表示のときに、再びSLEEPボタンを押すとスリープタイマーは解除されます。

スリープタイマーを解除するには

「Sleep　OFF」と表示するまでくり返しSLEEPボタンを押すか、一度スタンバイ状態にしてから再度電源を入れてください。

タイマー機能を使う

■ タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPlay（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。

  （タイマーRecはMA-700Uに接続したRI端子付きのオンキヨー製MDレコーダーに録音します。入力表示を正しく設定してください。）

演奏機器の設定

AM、FMまたはMA-700Uに接続しているタイマー機能のある外部機器が選択できます。
タイマーRec（録音）はFM、AMから選択できます。

曜日の設定

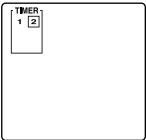
タイマーは1回だけ働く「Once（ワンス）タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every（エブリィ）タイマー」があります。
また、Everyタイマーには「Every D（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer1	毎朝の目覚ましがわりに タイマーPlay（再生）ーEveryーEvery D（毎週）ー7:00〜7:30
Timer2	毎週のラジオ放送を録音 タイマーRec（録音）ーEveryーMON（月曜日）〜SAT（土曜日）ー15:10〜15:30
Timer3	今週の日曜だけラジオ放送を録音 タイマーRec（録音）ーOnceーSUN（日曜日）ー10:00〜12:00

ご注意

- タイマー再生中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- MA-700Uに接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、TIMERインジケーターが点灯します。数字のみの点灯はタイマー再生で、数字に枠囲みのあるのがタイマー録音です。

左の例では、Timer1がタイマー再生で、Timer2にタイマー録音の予約が入っていることがわかります。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

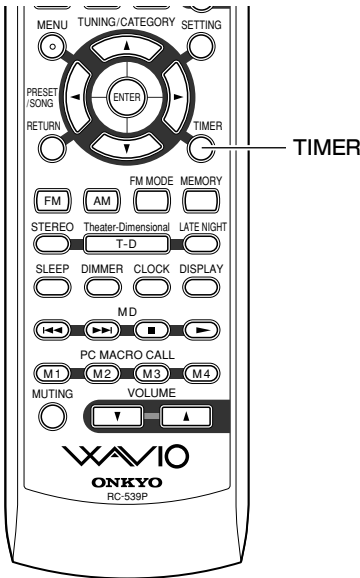
- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

Timer1	9:00ー10:00	
Timer2	8:00ー10:00	← 優先（タイマー開始時刻が早い方）
Timer3	12:00ー13:00	← 優先（タイマー番号が早い方）
Timer4	12:00ー12:30	

■ タイマー予約をする

タイマー予約はリモコンで操作します。
FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。（→46ページ）

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

1 ＜タイマー番号の選択＞ Timerボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

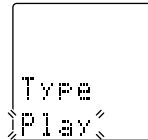
Timer1からTimer4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

ヒント

左上のTIMERインジケーターは、すでにタイマーが設定されている場合に点灯しています。

2 ＜タイマー種類の選択＞ ▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、タイマーPLAY（再生）またはタイマーREC（録音）を選ぶ

Type
Play

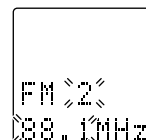
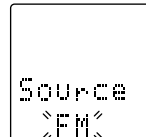
Type
Rec

3 ＜演奏機器の選択＞ ▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、演奏する機器を選ぶ

タイマーPLAYは、FM、AM、LINE1、LINE2、DIG1、DIG2、DIG3、USBから選べます。

タイマーRECは、FM、AM、LINE2、DIG1、DIG2、DIG3から選べます。

FMまたはAMを選んだ場合：

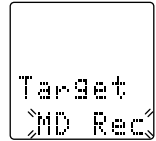
▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ

プリセット番号が表示されたらENTERボタンを押します。

4 ＜録音機器の選択（タイマーREC設定時＞

（タイマーPLAY設定時は手順5へ進んでください。

▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、演奏する機器を選ぶ

MDまたはUSBから選べます。接続している機器に合わせて選択し、ENTERボタンを押します。

Target
MD Rec

5 ＜毎日か、一回きりかの設定＞

▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、“Once”または“Every”を選ぶ

Once：設定した曜日に一回だけ働きます。選べる項目は曜日のみです。

Every：設定した曜日が来るたびに毎回働きます。複数の連続した曜日を設定することもできます。

選んだらENTERボタンを押します。

Onc/Eve
Every

6 ＜曜日の設定＞

▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、曜日を選びます。手順5でEveryを選んだときは、曜日の他に、Every D、DaysSetを選ぶこともできます。

MON：月曜日　　FRI：金曜日
TUE：火曜日　　SAT：土曜日
WED：水曜日　　SUN：日曜日
THU：木曜日

Day Set
MON

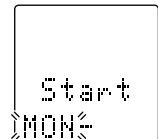
手順5でEveryを選んだ場合のみ：
Every D：曜日に関係なく毎日働かせたい場合に選びます。
DaysSet：連続した複数の曜日に働かせたい場合に選びます。たとえば月曜から金曜まで毎日働かせたいときなどに選びます。

“DaysSet”を選んだ場合

① **▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ**
曜日を表示させたら、ENTERボタンを押します。

Start
MON-

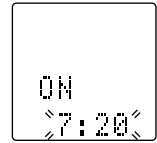
② **▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ**
曜日を表示させたら、ENTERボタンを押します。

End
MON-FRI

設定したらENTERボタンを押します。

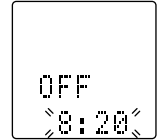
7 ＜開始時刻の設定＞
▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示したらENTERボタンを押します。

- 開始時刻（ON）を設定すると終了時刻（OFF）は自動的に1時間後の表示になります。
- ＭＤレコーダーにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

ON
7:20

8 ＜終了時刻の設定＞
▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

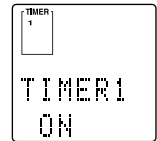
時刻を表示したらENTERボタンを押します。

OFF
8:20

9 ＜タイマー有効の確認＞

表示部に設定したタイマーのON表示が出ます。

左上のTIMERインジケーターの数字が点灯します。

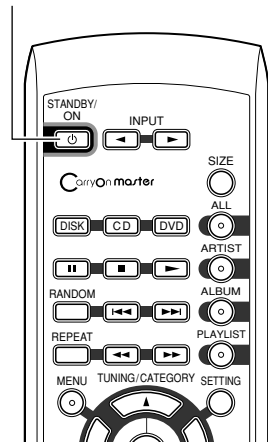
タイマー再生の場合は数字のみが、タイマー録音の場合は数字と枠囲みが点灯します。

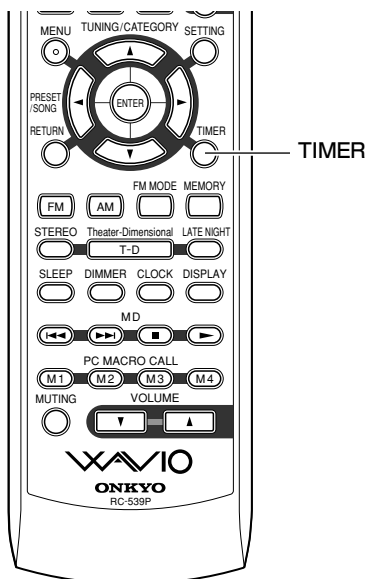
確認したらENTERボタンを押します。

10 ＜スタンバイにする＞
電源をスタンバイ状態にする

STANDBYボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

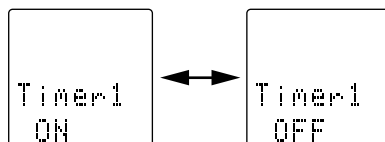
- ＭＤレコーダーにタイマー録音するときは、MDの録音入力の設定は必ずアナログ入力にしてください。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

タイマー予約をやり直したいときは…

TIMERボタンを押し、最初から設定してください。

■ タイマーのオン（実行）/オフ（取り消し）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいときは、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1 TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、設定したいタイマーの番号を表示させる

タイマー番号の上に“TIMER”が点灯していたら、オン（実行）で設定されている状態です。

2 ▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、オン（実行）/オフ（取り消し）を切り換える

切り換えると約2秒後に元の表示に戻ります。

■ タイマー設定の内容を確認する

1 TIMERボタンを（くり返し）押して、確認したいタイマーの番号を表示させる

タイマー番号を表示したらENTERボタンを押します。

2 ENTERボタンを押す

押すたびに設定した時の順番で設定内容が確認できます。設定した内容にない場合はとばします。

確認中、▲/▼もしくは◀/▶ボタンを押して、設定内容を変更することもできます。

TIMER設定がOFFになっている場合、設定内容を変更すると**自動的にタイマー設定がON**になります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。

通常の表示にするにはTIMERボタンを押します。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源 　　参照ページ

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。 P24
- 外部ノイズが内部のマイコンに影響している可能性があります。
  一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上たってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にTIMERインジケーターが点灯している場合はタイマーが働きます。解除してください。 P62
- タイマー演奏、録音は、終了時刻に電源がスタンバイ状態になります。

音声

音声が出ない

- スピーカーは正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？ P22
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。 P21
- 再生機器は正しく選ばれていますか？入力ソースを再生している機器にしてください。 P36
- ボリューム位置を確認してください。本機はMIN、1、2・・・・・・・・・79、MAXまで、広いレンジで調整できます。 P36
- ボリュームつまみの上のインジケーターが点滅していませんか。点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンのMUTINGボタンで解除してください。 P38
- ヘッドホンが接続されているとスピーカーからの音声が出力されません。 P38

左右の音量バランスがかたよっている

- リモコンのSETTINGボタンやMA-700Uミキサーパネルで左右の音量バランスを調整してください。P34、39

音が良くない

- スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。 P22
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。

レイトナイト機能が働かない

- 再生ソースがドルビーデジタルか確認してください。また、ソフトによっては効果が少なかったり、なかったりします。 P41

音声が小さい

- 抵抗入りの接続コードを使っていませんか。抵抗の入っていない接続コードをご使用ください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

DTS信号について

- DTS対応のCDやLDをANALOG端子のみに接続してアナログ再生すると、DTS信号をそのまま再生するためノイズが出力されます。このノイズを再生すると、本機やスピーカーにダメージを与える恐れがありますので、DTS対応のCDやLDを再生するときは再生機器の出力端子を本機のDIGITAL IN端子に接続し、デジタルで再生してください。 P36
- 一部のCDまたはLDプレーヤーでは、本機とデジタル接続をしても正しくDTS再生ができない場合があります。出力されているDTSデータに何らかの処理（出力レベル調整、サンプリング周波数変換、周波数特性変換など）が行われていると、本機が正しいDTSデータとみなすことができず、ノイズを発生することがあります。 P36
- DTS対応ディスクを再生している時にプレーヤー側でポーズやスキップなどの操作をすると、ごく短時間ノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。 P36

〈音質について〉

電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。また、電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。

困ったときは

ラジオ	参照ページ
放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い **オートチューニングで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“ST”インジケーターが完全に点灯しない**	
• アンテナの位置を変えてみてください。	P18、19
• テレビやコンピューターから離してください。	
• 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。	
• 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。	
• FMモードをモノラルに変更してみてください。	P45
• AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。	
• それでも電波が悪い場合は室外アンテナをおすすめします。	P19

USB接続したとき	
パソコンがMA-700Uを認識しない	
• USBケーブルを通じて本機をパソコンに確実に接続してください。	P26
• ハブに問題がある場合があります。パソコンのUSBポートに直接接続することをお勧めしますが、ハブを経由して接続する場合は、ハブが動作しているかどうかをハブの取扱説明書にしたがって確認してください。	
• USBケーブルを抜き、15秒ほど待ってもう一度接続してみてください。システムが不安定になっている場合は再起動を試してください。	
音声が出ない	
• ボリュームつまみの上のインジケーターが点滅していませんか。点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンのMUTINGボタンで解除するか、MA-700Uミキサーパネルを開き、ミュートのチェックをはずしてください。	P34、38
• ボリューム位置を確認してください。本機はMIN、1、2·········79、MAXまで、広いレンジで調整できます。	P36
• 他の音声出力デバイスになっていないか確認してください。	P32
パソコンの内蔵スピーカーから音が出ない	
• USBオーディオデバイスが優先されているため、内蔵スピーカーからは音声が出力されません。内蔵スピーカーから一時的に音声を出力させるためには、本機からUSBケーブルを抜いてください。内蔵スピーカーのご使用後はUSBケーブルを再度接続してください。	
CD-ROMドライブからの音声が出力されない	
• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない場合、USB経由ではCD-ROMドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をMA-700UのLINE IN端子に接続し、音量を適当な値に調節してください。	
ゲームのBGMが出力されない	
• BGMにCD出力が使用されている場合、上記の「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目を参照してください。	
音が途切れる	
• 音声出力、入力中にCPUに負担のかかる作業を行っている場合は、控えてください。	
• 音声の再生中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。	
• CPUが推奨スペック（→25ページ）を満たしていない場合は、期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でも、CPUが非常に高負荷の状態である場合には音が途切れることがあります。この場合は、他のアプリケーションをすべて終了させてください。	
• 「システムのプロパティ」から「デバイスマネージャ」を開き、ディスクドライブの中から音楽ファイルを保存しているハードディスクとCD-ROMドライブをダブルクリックしてプロパティを表示し、設定タブをクリックして、オプションのDMAチェックボックスにチェックを入れてください。	
• DVD再生時、グラフィックカードのハードウェア再生支援機能を持っているパソコンで、機能が動作していない可能性があります。DVDプレーヤーソフト側でハードウェア再生支援機能を有効にしてください。	
タスクバーのMA-700Uミキサーパネルアイコンをダブルクリックしても開かない	
• サウンド機器としてMA-700Uの選択をリセットすると状況が改善する場合があります。オーディオデバイスの設定で、他のデバイスを選んだのち、再度MA-700Uを選びなおしてください。	P32
タスクバーにMA-700Uミキサーパネルアイコンが見つからない	
• MA-700Uのドライバが正しく認識されていません。ドライバのインストールおよびオーディオデバイスを確認してください。	P27～32

リモコン　　　　　参照ページ

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。　P12
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください。）　P12
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？　P12
- 本体受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？　P12
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。　P12

他機との接続

接続した機器の音が出ない

- 入力切り換えを確認してください。　P36
- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
- フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは、別売のフォノイコライザーを中継してください。

録音ができない

- デジタル録音するには本機のデジタル出力を録音機器のデジタル入力に接続する必要があります。　P20、56、58
- デジタル録音の場合、コピーガードシステムにより保護されているため、録音できない場合があります。コピー不可に設定されているデジタル信号は録音できません。　P48
- 外部機器から音声が出力されているか確認してください。
- レコードプレーヤーからの音が小さすぎる場合は、レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵かお確かめください。内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

マイクからパソコンへの録音ができない

- ミニプラグのマイクをご使用ください。また、確実に接続されているかご確認ください。　P21
- マイクからの録音は、パソコンへのみできます。入力をUSBにしてください。　P52

RI接続をしてもシステム機能が働かない

- ケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（ ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。）　P23

タイマー再生、タイマー録音しない

- 現在時刻/日付は正しく設定されていますか？時刻が設定されていないと、タイマー演奏・録音はできません。現在時刻/日付を設定してください。　P59
- TIMER表示部に希望のタイマー番号が点灯していますか？　P62
- MA-700Uが電源オンの状態ではタイマー動作をしません。スタンバイ状態にしてください。　P65
- 再生機器/録音機器の設定を確認してください。

MA-700Uはマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。

※ マイコンのリセットについて
登録したレベル設定などを全て工場出荷時の設定に戻したいときは、スタンバイ状態時にMA-700U本体のINPUT▲ボタンを押しながらSTANDBY/ONボタンを押してください。MA-700Uの表示部に「Memory Clear」と表示され、初期化されると同時にスタンバイ状態となります。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

主な仕様

■ 総合

電源・電圧：	AC100V、50/60Hz
消費電力：	40W
待機時電力：	7W
最大外形寸法：	110（幅）×246（高さ）×257（奥行き）mm
質量：	3.5 kg
●音声入力	
デジタル端子：	光3（フロント1、リア2）
アナログ端子：	2（LINE 1/MD IN、LINE 2 IN）
●音声出力	
デジタル端子：	光1（リア1）　ヘッドフォン出力：　1
アナログ端子：	1（LINE 1/MD）
マイク入力：	1
サブウーファープリ出力：	1
● USB ポート：	1

■ アンプ部

定格出力：	15W＋15W（ANALOG LINE 1/MD IN→SP OUT 5Ω（EIAJ））
全高調波歪率：	0.1%（ANALOG LINE 1/MD IN→SP OUT 5Ω 1kHz 5W出力時）
入力感度／インピーダンス：	150mV/50kΩ（ANALOG LINE 1/MD IN、LINE 2）
出力電圧／インピーダンス：	200mV/2.5kΩ（ANALOG LINE 1/MD OUT）
周波数特性：	20Hz～20kHz/±3dB（ANALOG LINE 1/MD IN→SP OUT 5Ω 1W出力時）
SN比（IHF-A、入力ショート）：	100dB（ANALOG LINE 1/MD IN→SP OUT 5Ω）
トーンコントロール 最大変化量：	＋10dB、－10dB、100Hz（Bass） ＋10dB、－10dB、10kHz（Treble）
ミューティング：	－60dB

■ FM/AMチューナー部

●FM	
受信範囲：	FM76.0～90.0MHz
実用感度（75Ω）：	FM STEREO 17.2dBf、2.0μV（75Ω STEREO） FM MONO 11.2dBf、1.0μV（75Ω MONO）
SN比：	FM STEREO 67dB（STEREO） FM MONO 73dB（MONO）
歪率：	FM STEREO 0.3%（1kHz、STEREO） FM MONO 0.2%（1kHz、MONO）
周波数特性：	30Hz～15kHz/（±1.5dB）
ステレオセパレーション：	45dB（1kHz）
●AM	
受信範囲：	AM522～1629kHz
実用感度：	30μV
SN比：	40dB
歪率：	0.7%（1kHz）

■ リモコンRC-539P

方式：	赤外線
信号到達距離：	約5m
使用電池：	単3形（R6）乾電池 2個

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 MA-700U
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
(全国どこからでも市内料金で通話いただけます)
または 072-831-8111(携帯電話、PHS から)

サポート時間：月〜金曜日
（土日祝、弊社休日を除く）
9:30 〜 17:30

FAX でのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町 2 番 1 号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

E-mail でのお問い合わせ：
mmcadmin@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.onkyo.co.jp/
http://www.wavio.net/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.onkyo.co.jp/
http://www.wavio.net/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 072（831）8080

SN 29343522

Printed in Japan
D0306-1